

平成 10 年 研 究 業 績 目 録

(前段：和文業績)
(後段：欧文業績)

院 長 Director-General

総 説

古市圭治, 上畑鉄之丞. 日本の公衆衛生専門教育の現状と将来. 公衆衛生. 1998; 62(3): 180-184

次 長 Deputy Director-General

総 説

上畑鉄之丞. 脳動脈瘤の成因とくも膜下出血発症の諸要因. 日循協誌. 1998; 33(1): 25-29

古市圭治, 上畑鉄之丞. 日本の公衆衛生専門教育の現状と将来. 公衆衛生. 1998; 62(3): 180-184

岩永俊博, 鈴木晃, 上畑鉄之丞. 国立公衆衛生院での合同臨地訓練. 公衆衛生. 1998; 62(8): 565-568

上畑鉄之丞. 突然死 過労死の国際間比較. クリニシア. 1998; No.473: 90-92

上畑鉄之丞. ストレスマネジメントと血圧. 血圧. 1998; 5(12): 1305-1310

抄録のある学会報告

坂井公, 木村剛典, 近藤雅雄, 上畑鉄之丞, 荒木高明, 大菅俊明. 自衛隊訓練中に発生した火山ガス中毒患者の血

清中硫化水素濃度. 第46回日本災害医学会学術大会, 名古屋. 1998.10

須藤紀子, 上畑鉄之丞. 労働時間と職務ストレスからみた喫煙と飲酒習慣の動向に関する研究. 第71回日本産業衛生学会, 1998; 608

須藤紀子, 上畑鉄之丞. 労働態様と職務ストレスからみた職務別喫煙・飲酒傾向. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 600

学術報告書等

上畑鉄之丞, 高宮聖子. 事例研究—市民の健康づくりをどうすすめるか—F市の場合. 平成9年度総合的地域健康教育検討事業報告書(班長 古市圭治), 1998; 149-157

上畑鉄之丞他. いきいき成人期のために—第1回成人期健康栄養調査報告書(委員長 上畑鉄之丞), 東京都衛生局, 1998; 1-158

Original

Sugisawa A, Uehata T. Onset of peptic ulcer and its relation to work-related factors and life events: A prospective study. *J Occupational Health*, 1998; 40: 22-31

Proceeding with abstract

Uehata T, Maehara N, Abe M. A proposal of preventive strategy of cardiovascular diseases at work places in Japan. The Second International Conference on Work Environment and Cardiovascular Diseases. Tel-Aviv, Israel, Mar. 1998

保健統計人口学部

Department of Demography and Health Statistics

原 著

王芑, 林謙治. 中国における妊産婦死亡率の推計. 民族衛生. 1998; 64(2): 86-95.

中井里史, 橋本修二, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野

田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因—在所者自身によるADL評価および生活満足度—, 厚生の指標. 1998; 45(10): 13-17

西田茂樹, 綿引信義, 高建群. わが国の戦後の婚姻, 離婚, 嫡出・非嫡出別出生, 嫡出・非嫡出別死産の動向に関

する一考察. 民族衛生, 1998; 64(3): 136-145

大友優子, 西田茂樹. プライマリ・ヘルス・ケアの視点から見た高知県保健婦駐在制についての研究. 保健婦雑誌, 1998; 54(9): 740-744

総 説

佐藤元, 荒木俊一, 林謙治, 大原賢了. 米国の厚生統計情報政策の現状と展望. 厚生指針, 1998; 45(7): 11-18
林謙治. 中国の医療の現状. 人口と開発, 1998; (64): 34-39

西田茂樹, 小嶋由美, 磯濱亜矢子. 発達障害児療育教室事業の評価の試み. 保健婦雑誌, 1998; 54(2): 120-125

西田茂樹. 精神保健福祉計画の企画と実践一意欲を事業に反映するために 人口移動が精神保健福祉計画に与えた影響の可能性. 公衆衛生, 1998; 62(8): 590-593

西田茂樹, 鎌田明美. 死亡統計を用いた調査研究. 保健婦雑誌, 1998; 54(10): 803-808

西田茂樹, 森稚加子, 鳩野洋子. 保健所での調査研究『在宅ケアにおける薬局の役割』. 保健婦雑誌, 1998; 54(10): 881-887

渡邊正樹, 畑栄一, 西岡伸紀, 戸部秀之, 田中豊穂, 後藤ひとみ, 家田重晴. 学校健康教育の内容体系化に関する研究(1) 体系化の指針及び健康問題の分析. 学校保健研究, 1998; 39: 539-549

家田重晴, 後藤ひとみ, 田中豊穂, 戸部秀之, 西岡伸紀, 畑栄一, 渡邊正樹. 学校健康教育の内容体系化に関する研究(2) 3部9系列の内容体系の提案. 学校保健研究, 1998; 40: 52-65

野田順子. 公衆衛生スタッフへの精神保健教育・研修について. 公衆衛生研究, 1998; 47(2): 113-118

著 書

林謙治. 低容量ピルに対する意識と背景. 一家族の未来” ジェンダを超えて”. 24回全国家族計画世論調査. 毎日新聞社, 東京, 1998: 127-142

兵井伸行. プロジェクトのマネージメント. 健康教育大要一健康福祉活動の教育的側面に関する指針一. ライフ・サイエンス・センター, 1998: 377-388

兵井伸行, 他編集. 21世紀・健康・世界. WHO 編纂: 世界保健報告. 英伝社, 1998

抄録のある学会報告

林謙治. ジェンダーと人口問題. 第50回日本人口学会, 東京, 1998 (シンポジウム)

土井徹, 陳麗, 大原賢了, 城戸尚治, 康文江, 大坪浩一. 老人保健施設における長期在所者の家族状況の推移—老人保健施設実態調査による—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10: 159

陳麗, 土井徹, 大原賢了, 城戸尚治, 康文江, 大坪浩一. 老人保健施設入所者と施設との関係継続期間と家族状況—4老人保健施設における事例調査による—. 第57回日本

公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10: 159

大原賢了, 土井徹. 老人保健施設入所期間の長期化要因. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10: 568

田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 市川光太郎, 中川聡, 宮坂勝之. わが国における乳幼児突然死症候群の検討. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10: 459

康文江, 谷本佐理名, 齊藤和夫, 井口清也, 上野秀紀, 矢野浅美, 今川洋子, 森永綾子, 布施寿美江, 柳沢経子, 土山典子, 小野志保, 岩崎祐子, 林正幸, 兵井伸行, 綿引信義, 曾根智史. 健診受診行動から健康づくりのあり方を考える. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998

山田寛子, 橘とも子, 三橋徹, 猿田恵子, 岡順子, 安藤実里, 小河トシ, 通山和美, 永野富美子, 森下典子, 佐々木玲子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の支援方法に関する研究 (ジェネラリストの役割) ・その1. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

佐々木玲子, 三橋徹, 橘とも子, 猿田恵子, 山田寛子, 森下典子, 安藤実里, 小河トシ, 通山和美, 岡順子, 永野富美子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の支援方法に関する研究 (在宅療養者のアセスメント票) ・その2. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

岩崎祐子, 服部担, 西田茂樹. 給食施設の栄養管理状況—今後の保健所の給食施設指導の方向性を探る—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

丹野かほる, 兵井伸行. 諸外国のリプロダクティブ・ヘルスに関する一考察—避妊法の選択について—. 日本国際保健医療学会東日本地方会プログラム, 5, 東京, 1998

工藤芳子, 佐藤准子, 兵井伸行, 高建群, 馮皓, 張玉森, 陳育徳. 中国, 北京の医療施設における超音波検査の導入状況—特に周産期管理における検査利用について—. 日本国際保健医療学会, 大阪, 1998; 13 (Supplement): 153

西岡伸紀, 渡邊正樹, 畑栄一, 戸部秀之, 田中豊穂, 後藤ひとみ, 家田重晴. 学校健康教育の内容体系の検討(5) —各系列の教育目標—. 第45回日本学校保健学会, 茨城, 1998.10

家田重晴, 後藤ひとみ, 田中豊穂, 戸部秀之, 西岡伸紀, 畑栄一, 渡邊正樹. 学校健康教育の内容体系の検討(6) —各系列の内容と校種配当—. 第45回日本学校保健学会, 茨城, 1998.10

石渡正樹, 畑幸宏, 岡知宏, 横森喜久美, 森千佳子, 藤本恵子, 国分めぐみ, 久村真紀江, 西野幸恵, 園中希依子, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働に向けて1—働きかけと働きかけ側の意識の変化—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

森千佳子, 畑幸宏, 石渡正樹, 岡知宏, 横森喜久美, 藤本恵子, 国分めぐみ, 久村真紀江, 西野幸恵, 園中希依子, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働に向けて2—参加者側の変化—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

久村真紀江, 畑幸宏, 石渡正樹, 岡知宏, 横森喜久美, 森千佳子, 藤本恵子, 国分めぐみ, 西野幸恵, 園中希依子,

岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働に向けて3—協働のための推進要因—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

高田紀子, 畑栄一. 父親の「子供の世話」に対する意識調査—第一次調査を踏まえて—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.10

岩永俊博, 畑栄一, 佐藤加代子, 鳩野洋子, 石井敏弘, 和田耕太郎, 鈴木浩子, 田中良明, 向山晴子, 鎌田明美, 飯塚俊子, 村上由香. グループワーク場面での住民の発言内容の変化とその要因—受け身的発言から主体的発言へ—. 第7回日本健康教育学会, 埼玉, 1998.6

岡順子, 野田順子. 地域精神保健活動におけるセルフヘルプグループの役割. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 591

谷出早由美, 和田文明, 野田順子. これからの保健所デザインへの方向性. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 592

綿引信義, 西田茂樹. 東北諸県の平均寿命について. 第63回日本民族衛生学会, 島根, 1998.11

大坪浩一, 新郷歩, 松本祐子. 地域医療計画の策定のための保健所の行政圏域に関する研究. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 254

学術報告書等

林謙治, 田中勝, 国包章一, 藤崎清道, 箕輪眞澄. (主任研究者: 林謙治) 環境と健康を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究. 厚生省国際医療協力研究委託事業平成9年度報告書, 1998

林謙治, 方波見重兵衛, 大原賢了, 佐藤元. (主任研究者: 林謙治) 厚生統計情報の国際的情報発信戦略の基盤確立に関する研究. 厚生科学研究平成9年度報告書, 1998

田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 市川光太郎, 中川聡, 宮坂勝之. 乳幼児突然死症候群の育児環境因子に関する研究—保健婦による聞き取り調査結果—. 平成9年度厚生省心身

障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」(主任研究者 田中哲郎) 研究報告書, 1998; 27-48

林正幸, 兵井伸行. 墨田区健康情報基礎資料の調査・分析報告書. 人口動態統計に基づく死亡状況調査区民アンケート調査, 墨田区, 1998

西田茂樹. 保健所長資格のための教育カリキュラム案—国立公衆衛生院での医師を対象とした長期課程カリキュラムの一試案II—. (主任研究者: 長田泰公) 平成9年度総合的地域健康教育検討事業, 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究1997年度報告書, 1998; 37-48

久松由東, 西田茂樹, 上畑鉄之丞. 教育研修の評価方法の検討. (主任研究者: 長田泰公) 平成9年度総合的地域健康教育検討事業, 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究1997年度報告書, 1998; 65-74

兵井伸行. 国際機関, 二国間援助機関が実施する保健医療プロジェクトの評価に関する研究, 厚生省国際医療協力研究委託事業 環境と健康問題を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究. (主任研究者 林謙治) 平成9年度研究報告書, 1998; 4-14

兵井伸行. PCM 評価による「アセアンプライマリ・ヘルス・ケア訓練センター」プロジェクトの事後評価. 厚生省国際医療協力研究委託事業 環境と健康問題を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究. (主任研究者 林謙治) 平成9年度研究報告書, 1998; 43-51

兵井伸行. 発展途上国における臨床検査体制に関する研究—その機能とリファラルシステムの観点から—. 新しい時代の保健・医療を考える—その科学的評価を求めて—, (研究代表者 兵井伸行) ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 1998; 104~114

綿引信義. プロジェクトの評価を考える枠組みとその位置づけについて. 厚生省国際医療協力研究委託事業 環境と健康問題を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究 (主任研究者: 林謙治) 平成9年度研究報告書, 1998; 15-24

Books

Hayashi K. **Public awareness of low dose pill: in “The Future of family beyond gender”** (ed. Kuroda T). 24th National Survey of Family Planning, Mainichi-Shinbun. (Tokyo): 1998; 207-229.

Hayashi K. **Health care system in Asia-Pacific Region.** (Hayashi, K ed.), National Institute of Public Health, Tokyo: 1998

Proceedings with abstracts

Hayashi K. **Demographic impact on fertility regulation in East Asia.** 4th World Congress of Bioethics. Tokyo. Dec. 1998 (Invited Paper)

Hayashi K. **The Public attitude towards political controversy of the choice of oral contraceptive.** Inter-

national Symposium on the Freedom of Contraception Choice. College de France, Paris. Oct. 1998 (Invited Paper)

Hayashi K. **Aging and related issues.** 3rd Japan Singapore Symposium on Economic Cooperation. Tokyo. Dec. 1998 (Invited Paper)

Sato S, Kudo Y, Hyoui N. **A study on Clinical Laboratory System in Thailand with focus on its function and referral system.** *The Journal of Japan Association for International Health.* Osaka. 1998; 13 (Suppl.): 90

Hyoui N. **Management Information System for Reproductive Health in Vietnam.** *The Journal of Japan Association for International Health.* Osaka. 1998; 13 (Suppl.): 94

Hyoui N. **Problem identification and issues in population dynamics.** International Symposium on Health

Aspects of Urbanization, Health Development Beyond 2000—The Third Training Course for Future Health Leaders. Tokyo. 1998

Hyo N. **Eye care for the elderly**. WHO workshop on prevention of blindness-Eye care for the elderly. Fukuo-

ka. 1998

Doi Y, Tango T, Noda J, Morita H, Roberts RE, Takeuchi K. **Reliability and validity of DSD for adolescent depression**. 1st International Conference on Child & Adolescent Mental Health. Hongkong. Jun. 1998 ; 244

疫 学 部

Department of Epidemiology

原 著

土井由利子, 簗輪真澄, 内山真, 大川匡子. ビツバーグ睡眠質問票日本語版の作成. 精神科治療学. 1998 ; 13 (6) : 755-763

大井田隆, 尾崎米厚, 簗輪真澄, 望月友美子, 河原和夫, 川口毅. 教師の喫煙行動及び喫煙防止対策に関する態度. 学校保健研究. 1998 ; 40 (4) : 299-307

大井田隆, 尾崎米厚, 岡田加奈子, 望月友美子, 杉江拓也, 河原和夫, 川口毅, 簗輪真澄. 看護学生, 新人看護婦の喫煙行動関連要因. 学校保健研究. 1998 ; 40 (4) : 332-340

玉腰暁子, 川村孝, 大野良之, 橋本修二, 簗輪真澄, 稲葉裕, 藍沢茂雄. 全国疫学調査による難病受療患者数の推計・大野班3年間 (1993-95年度) の成績. 日本医事新報. 1998 ; (3843) : 25-28

三徳和子, 三吉凡夫, 星融, 簗輪真澄. 専門学校生徒に対する禁煙教育の効果. 保健婦雑誌. 1998 ; 54 (7) : 564-568

藤田利治, 澤口聡子, 澤口彰子. 東京都における人口動態調査死亡票を用いた乳幼児突然死症候群の発生頻度に関する調査. 日本公衛誌. 1998 ; 45 (2) : 142-150

戸高由佳里, 藤田利治, 高濱ノリ子, 松本勝子. 宮崎保健所管内での高い人工死産率とその関連要因. 日本公衛誌. 1998 ; 45 (4) : 343-351

築場玲子, 藤田利治. 精神科医療保護入院後の退院者の再入院及び受療中断に関する追跡研究. 厚生指標. 1998 ; 45 (6) : 10-16

椿広計, 藤田利治, 佐藤倚男. 誰がための臨床統計? : わが国で実践された「患者の立場」からの臨床評価の原則と統計的方法の役割. 統計数理. 1998 ; 46 : 97-115

椿広計, 藤田利治. 誰がための臨床統計? : わが国で実践された『患者の立場』からの臨床評価の原則と統計的方法の役割へのコメントに対する意見. 統計数理. 1998 ; 46 : 140-151

竹木幸恵, 青山旬, ほか. 歯科衛生士学校学生を対象とした生活習慣と口腔保健行動について. 歯学. 1998 ; 83 : 678-686

尾崎哲則, 安井利一, 青山旬, 長田斉, 上條英之, 高久悟, 福田雅臣, 丹羽源男, 宮武光吉, 中尾俊一. 全国市区町村の地域歯科保健活動に関する調査研究 その1. 母子歯科保健事業の実施状況. 口腔衛生学会雑誌. 1998 ; 48 (2) : 188-200

尾崎哲則, 長田斉, 安井利一, 青山旬, 上條英之, 高久

悟, 福田雅臣, 丹羽源男, 宮武光吉, 中尾俊一. 全国市区町村の地域歯科保健活動に関する調査研究 その2. 成人・老人歯科保健事業の実施状況. 口腔衛生学会雑誌. 1998 ; 48 (3) : 294-302

土井由利子, 田中勝, 池口孝, 川村清史, 大迫政浩, 山田正人, 井上雄三. 開発途上国における廃棄物プロジェクト評価に関する基本概念と指標について. 公衆衛生研究. 1998 ; 47 : 128-133

総 説

簗輪真澄. タバコのない世界に向けての医師の役割. 循環科学. 1998 ; 18 : 268-270

簗輪真澄. 喫煙と健康問題. 日医雑誌. 1998 ; 119 : 967

尾崎米厚, 簗輪真澄. 食中毒集団発生の疫学調査. 食品衛生研究. 1998 ; 48 (8) : 75-85

植岡隆, 市来英雄, 青山旬, 笠石聰. 口腔衛生学会雑誌. 1998 ; 48 (1) : 1-12

川南勝彦, 簗輪真澄, 川島ひろ子. 保健福祉サービスの効果のQOLを含む総合的な指標による評価. 厚生指標. 1998 ; 45 (1) : 19-24

尾崎米厚. 最近の食中毒の動向. 保健婦雑誌. 1998 ; 54 (1) : 86-87

尾崎米厚. これからの保健所の役割. 地域保健. 1998 ; 29 (2) : 50-51

簗輪真澄, 尾崎米厚, 曾根智史. ニコチンないし喫煙の効用は真実か. 臨床科学. 1998 ; 34 (2) : 165-172

簗輪真澄, 尾崎米厚, 曾根智史. ニコチン/喫煙に疾病予防効果はあるか? 公衆衛生研究. 1998 ; 47 (1) : 29-38

吉宮仁美, 尾崎米厚, 母里啓子. 中学生と親のエイズ会話の現状一親への教育の考察. 日公衛誌. 1998 ; 45 (5) : 449-456

吉宮仁美, 尾崎米厚, 母里啓子. 中学生へのエイズ教育における両親の関与一親へのエイズ意識調査の結果を報告して一. 公衆衛生研究. 1998 ; 47 (2) : 119-127

尾崎米厚. 禁煙の効果—メディカルコストの観点から—. 日本医事新報. 1998 ; 3885 : 46-48

尾崎米厚. 禁煙の法則 子どもと「防煙」. SCIA S (サイアス). 1998 ; 50 : 55-57

牛山明, 福島富士子, 尾崎米厚. 教育プログラムを活用した乳幼児事故予防教育の実践. 誤飲, 窒息事故予防プログラムを通して. 生活教育. 1999 ; 43 (3) : 7-10

著 書

簗輪眞澄. スモン. 日本疫学会編 (柳川洋, 田中平三, 稲葉裕総編集). 疫学ハンドブック: 重要疾患の疫学と予防. 南江堂, 東京. 1998; 253-256

簗輪眞澄. 喫煙および受動喫煙. 渡邊昌, 松崎松平, 小西正光編. 健康増進, 病気予防の基礎と臨床. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998; 54-66

簗輪眞澄. 健康教育の評価における疫学的側面—科学的な分析・評価の方法—. 石井敏弘編集責任. 健康教育大要—健康福祉活動の教育的側面に関する指針. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998; 389-402

簗輪眞澄. 近代公衆衛生の萌芽と住宅問題—チャドウィック・レポート—. 日本住宅会議編. 住宅白書1998—住居と健康. ドメス出版, 東京. 1998; 20-23

簗輪眞澄, 尾崎米厚. 喫煙対策の評価. クレール・シャラー・トラケー監修, 島尾忠男・翻訳. 財団法人結核予防会, 1998

青山旬, 境信. 8020 (ハチマルニイマル) と歯科保健教育. 石井敏弘編集. 健康教育大要—健康福祉活動の教育的側面に関する指針. ライフ・サイエンス・センター, 1998; 35-45

青山旬. 歯科保健指導. 高野陽監修. 母子保健指導のポイント. 市町村保健婦活動のために. 全国保健センター連合会, 1998; 124-133

抄録のある学会報告

簗輪眞澄, 尾崎米厚, 鈴木健二, 和田清. 中高生の喫煙行動に関する全国調査. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 118

大井田隆, 尾崎米厚, 簗輪眞澄, 山口直人, 川口毅. 看護学生, 新人看護婦の喫煙行動に関する要因分析. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 208

谷本佐理名, 簗輪眞澄. 路上生活者の生活. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 180

関根道和, 山上孝司, 沼田直子, そうけ島茂, 齋藤友博, 飯田恭子, 南里清一郎, 吉田勝美, 吉村健清, 簗輪眞澄, 鏡森定信. 「痩せ」と関係する小学1年時の生活習慣についての研究—富山スタディの成績より—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 502

田畑茂美, 大島秀夫, 池田千佳, 石田澄子, 鳥橋義和, 山本昭夫, 簗輪眞澄. 滝野町住民の喫煙に関する実態調査. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 206

藤田利治, 三浦宜彦. 老人保健事業における健康教育の実施状況および老人医療費との関連. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 573

眞崎直子, 松本晶美, 藤岡良幸, 中村興睿, 橋本修二, 藤田利治. 精神障害者に関する情報提供の手法の検討: 精神保健福祉センターの役割の視点から. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 580

尾崎米厚, 簗輪眞澄, 鈴木健二, 和田清. 中高生の飲酒

行動に関する全国調査. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 492

河原和夫, 日下幸則, 大井田隆, 尾崎米厚, 簗輪眞澄, 山口直人. 医療機関の喫煙対策に関する調査. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 311

安藤実里, 福島富士子, 尾崎米厚. 岐阜県における市町村母子保健計画策定プロセスに関する研究. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 328

福島富士子, 北川定謙, 笹井康典, 田上豊資, 犬塚君雄, 渋谷いづみ, 富澤一郎, 藤内修二, 榎本真一, 岩室紳也, 尾島俊之, 尾崎米厚. 全国の市町村母子保健計画書の数量的分析. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 461

吉田匡史, 土岐岳子, 山口一郎, 大幡保夫, 大嶺悦子, 櫻井博美, 高宮聖子, 谷出早由美, 丹野かほる, 辻よしみ, 野口雅美, 松尾美穂子, 重井真理子, 田中哲朗, 加藤則子, 佐藤加代子, 井原成男, 尾崎米厚, 浅井雅之, 中村富枝. 乳幼児の家庭内事故予防に関する調査—子ども事故予防センターの活動効果について—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 508

青山旬. 21世紀の地域保健の展望—今こそきめ細かく地域発信型歯科保健の推進を—. 日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会第9回総会, 富山. 1998.7 (特別講演)

高久悟, 長田斉, 尾崎哲則, 福田雅臣, 青山旬, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 市町村における歯科保健推進に関する研究. その1. 歯科保健事業実施と社会的指標の関連について. 第47回日本口腔衛生学会, 仙台. 1998.10

青山旬, 福田雅臣, 尾崎哲則, 長田斉, 高久悟, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 市町村における歯科保健推進に関する研究. その2. 心身障害 (児) 者に対する歯科保健事業実施状況について. 第47回日本口腔衛生学会, 仙台. 1998.10

一宮頼子, 梶本雅俊, 青山旬, 福田雅臣, 丹羽源男. 地域歯科保健における口腔内状況の客観的評価法の検討. 第47回日本口腔衛生学会, 仙台. 1998.10

杉原直樹, 青山旬, 上條英之, 北原稔, 田口円裕, 東松信平, 中村宗達, 藤岡道治, 宮武光吉, 森下真行, 米山武義, 高江洲義矩. 老人保健施設並びに特別養護老人ホームにおける口腔ケアの支援体制に関する調査. 第47回日本口腔衛生学会, 仙台. 1998.10

福田雅臣, 尾崎哲則, 青山旬, 長田斉, 高久悟, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 地域歯科保健推進に関する研究. I. 母子歯科保健事業と関連要因. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

尾崎哲則, 福田雅臣, 高久悟, 長田斉, 青山旬, 安井利一, 丹羽源男, 宮武光吉. 地域歯科保健推進に関する研究. II. 成人・老人歯科保健事業と関連要因. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

安井利一, 宮武光吉, 丹羽源男, 福田雅臣, 尾崎哲則, 長田斉, 高久悟, 青山旬. 地域歯科保健推進に関する研究. III. 市町村歯科保健事業推進の障壁. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

金圭子, 内山真, 大川匡子, 土井由利子, 大井田隆, 箕輪眞澄, 萩原隆二. 健康づくりに関する意識調査における睡眠とストレスの関連. 日本睡眠学会第23回学術集会, 秋田, 1998:6

川南勝彦, 尾崎米厚, 箕輪眞澄. 感染症サーベイランスデータ利用のレビュー. 第11回公衆衛生情報研究協議会研究会, 福岡, 1998:22-23

川南勝彦, 箕輪眞澄, 川島ひろ子. 保健福祉サービスの効果のQOLを含む総合的な指標による評価. 第11回公衆衛生情報研究協議会研究会, 福岡, 1998:34-35

川南勝彦, 箕輪眞澄, 伊川あけみ, 大井照. 都市部, 農村部における要介助者の状況. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998:549

窪山泉, 伊藤拳, 金田麻理子, 箕輪眞澄. VOCの健康被害. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998:741

土井由利子, 箕輪眞澄, 大川匡子, 内山真. 日本における睡眠障害・睡眠習慣に関する疫学研究. 第9回日本疫学会, 名古屋, 1999:1

櫻井博美, 牛山明, 尾崎米厚. 小中高校におけるエイズ教育に対する保健所の役割. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998:633

鷹箸右子, 尾崎米厚. AIDS患者, HIV感染者生活実態調査(改訂第2報). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998:636

学術報告書等

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 川南勝彦. エイズ患者, 感染者の動向予測(将来推計). (研究代表者: 塩川優一) 平成7年度東京都エイズ研究班研究報告書, 1998:47-54

箕輪眞澄, 岩永俊博, 尾崎米厚. 日本人の性行動と性意識についての全国確率サンプル, サーベイの実施とその分析. (研究代表者: 木原正博) 平成9年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症の疫学研究」研究報告書, 1998:459-496

箕輪眞澄. 三重県の教職員の喫煙行動および喫煙防止教育に対する態度. (研究代表者: 川口毅) 日米医学協力研究会突然変異, がん原部会平成5年度報告, 1998:130-133

箕輪眞澄, 川南勝彦. 3歳児, 小学1年生時の食習慣, ライフスタイルと肥満度の追跡後変化との関連について. (研究代表者: 村田光範) 厚生省心身障害研究小児期からの総合的な健康づくりに関する研究平成9年度報告書, 1998:216-226

箕輪眞澄, 川南勝彦. 喫煙とCVDリスクファクターにつ

いて一喫煙と循環器疾患死亡, QOLとの関連(7指一2高齢者の循環器疾患による生活の質の低下予防策に関する研究(主任研究者: 上島弘嗣) 平成9年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集, 1998:47

藤田利治. 大規模医療データの効率的な統計解析に関する研究. (研究代表者: 花井莊太郎) 平成9年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集, 1998:390

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 他. 1996年度未成年者の喫煙行動に関する全国調査報告書. 平成9年度厚生科学研究費補助金健康増進研究事業防煙の実態に関する研究班報告書, 1998

尾崎米厚, 他. 中国江西省青少年の飲酒, 喫煙実態に関する調査(主任研究者: 尾崎米厚) 報告書, 1998

櫻井博美, 尾崎米厚, 牛山明. 小中高校のエイズ教育における保健所の役割に関する調査(主任研究者: 尾崎米厚) 報告書, 1998

青山旬, 他. 今後の市町村における地域歯科保健推進に関する総合的研究. (研究代表者: 宮武光吉) 平成9年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合研究事業報告書, 1998:1-17

青山旬, 他. 今後の地域歯科保健のあり方に関する総合的研究(研究代表者: 中尾俊一) 報告書, 1998:1-107

青山旬, 他. 個人の摂食能力に応じた「味わい」のある食事内容・指導等に関する研究. (研究代表者: 向井美恵) 平成9年度厚生科学研究健康政策調査研究事業報告書, 1998:31-38

青山旬, 他. 歯周疾患検診の効果的な実施方法及び評価に関する研究. (主任研究者: 末高武彦) 平成9年度老人保健福祉に関する調査研究等事業報告書, 1998:1-70

青山旬, 他. 平成9年度先駆的保健事業研究支援小委員会報告書, 1998:1-21

川南勝彦, 藤田利治, 箕輪眞澄, 他. 難病共通の主観的QOL尺度の開発(本調査結果). 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班(主任研究者: 大野良之) 平成9年度研究業績集, 1998:177-183

視聴覚資料等

[ビデオ教材]

重松逸造, 箕輪眞澄. ビデオ: シリーズ 日本の公衆衛生——疫学=病気最前線のあゆみ. 国立公衆衛生院: 1998

重松逸造, 箕輪眞澄. ビデオ: シリーズ 日本の公衆衛生——保健所に生きて. 国立公衆衛生院: 1998

Originals

Matsushita H, Kawaminami K, et al. Proliferation of parathyroid cells negatively correlates with expression of parathyroid hormone-related protein in secondary parathyroid hyperplasia. *Kidney International*. 1998; 55: 130-138

Sawaguchi T, Nelson EAS, Fujita T, Sawaguchi A, Knight B. Is the incidence of AIDS increasing in Asia? *Int J Legal Med*. 1998; 111: 278-280

Proceedings with abstracts

Doi Y, Morita H, Noda J, Tango T, Roberts RE, Takeuchi K. Reliability and validity of DSD for adoles-

cent depression. First International Conference on Child & Adolescent Mental Health. Hong Kong. Jun. 1998

Doi Y, Tanaka M, Ikeguchi T. **A concept and indicators for evaluation of solid waste management projects.** The 9th Annual Conference of the Japan Society of Waste Management Experts. Nagoya. Oct. 1998

Tanaka M, Doi Y. **A concept and indicators for evaluation of solid waste management projects in developing countries.** Pacific Basin Conference on

Hazardous Waste. Honolulu. Apr. 1998

Teaching videos

Shigematsu I, Minowa M. **Series Japan's public health-Epidemiology progress at the front line of diseases.** National Institute of Public Health. 1998.

Nishi M, Minowa M. **Series Japan's public health-Public health centers commitment and fulfillment.** National Institute of Public Health. 1998.

公衆衛生行政学部 Department of Public Health Administration

原 著

曾根智史, 藤崎清道. テレビのたばこ広告中止の予想される影響. 厚生指標. 1998; 45(4): 3-8

中井里史, 橋本修二, 土井徹, 曾根智史, 山東太介, 野田広. 老人保健施設の在所期間と関連要因—在所者自身によるADL評価および生活満足度—. 厚生指標. 1998; 45(10): 13-17

曾根智史. わが国のテレビ文化における喫煙行動に関する研究. 健康文化. 1998; 62-69

石井敏弘. QOL向上をめざす医療, 主体的な能力形成を支援する健康教育. 臨床老年看護. 1998; 6: 127-137

筒井孝子, 中嶋和夫. 要介護高齢者の問題行動に関する因子構造の妥当性—療養型病床群, 老人保健施設, 特別養護老人ホーム入院, 入所者を対象として—. 病院管理. 1998; 35(4): 21-30

関庸一, 筒井孝子. 多目的変数樹形回帰モデルのMDL規準に基づく推定. 応用・統計学会第20回シンポジウム講演予稿集. 1998: 69-74

筒井孝子. 看護量測定および推定のための方法論に関する研究(2)—看護量推定の方法について—. 看護管理. 1998; 8(1): 36-40

筒井孝子. 看護機能と診療報酬上の評価方法—業務量調査の試行によって得られた看護内容とその量を手がかりとして. 病院. 1998; 57(4): 323-327

筒井孝子. 要介護認定. 病院建築. 1998; 119: 22-23

筒井孝子. 介護保険制度下におけるケアシステムの未来(上). 社会保険旬報. 1998; 1988: 12-18,

筒井孝子. 介護保険制度下におけるケアシステムの未来(下). 社会保険旬報. 1998; 1989: 24-28

筒井孝子. 介護保険制度のマネジメントシステム—居宅介護支援・市町村ケアマネジメント・介護サービスマネジメントシステムの構築. 訪問看護と介護. 1998; 3(12): 874-880,

武村真治, 藤崎清道, 府川哲夫, 中原俊隆, 近藤健文. 全国市区町村における在宅老人福祉事業の費用. 厚生指標. 1998; 45(11): 13-18

総 説

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 曾根智史. ニコチンないし喫煙の効用は真実か. 臨床科学. 1998; 34(2): 165-172

箕輪眞澄, 尾崎米厚, 曾根智史. ニコチン/喫煙に疾病予防効果はあるか? 公衆衛生研究. 1998; 47(1): 29-38

武村真治, 中原俊隆. 老人保健事業の費用とその規定要因. 医学のあゆみ. 1998; 187(12・13): 1026-1027.

著 書

岩永俊博. 目的設定型の保健活動と健康教育. 石井敏弘編. 健康教育大要ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998: 179-187

石井敏弘. 健康づくりの本能と科学—QOLを高めるアプローチ—. 石井敏弘編. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998: 473-562

石井敏弘, 宮坂忠夫. 国立公衆衛生院における衛生教育, 健康教育に係わる教育訓練事業の沿革. 石井敏弘編. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998: 571-594

石井敏弘. 健康づくりの包括的方法論と実践へのアプローチ—QOLを高める保健活動をめざして—. 新・新健康教育テキスト効果をあげる健康教育, 成果のあがる健康づくり. ライフ・サイエンス・センター, 横浜. 1998: 85-255

大久保利児監修, 産業保健事例研究会(海道昌宣, 森晃爾, 曾根智史ら)著. 事例から学ぶ産業保健の実務, 第1集. 労働基準調査会, 1998

筒井孝子. やさしい「介護サービス計画」入門全老協版 version III. 全国老人福祉施設協議会編. 東京, 1998

筒井孝子. 介護サービス計画. 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 東京. 1998

筒井孝子. 入門介護サービスマネジメント. 日本経済新聞社, 東京. 1998

筒井孝子. 在宅高齢者と福祉機器活用の現状. 徳田哲男, 児玉桂子編. 福祉機器と適正環境. (講座超高齢社会の福祉工学下巻). 中央法規出版, 東京. 1998: 145-162

抄録のある学会報告

岩永俊博, 畑栄一, 佐藤加代子, 鳩野洋子, 石井敏弘,

和田耕太郎, 鈴木浩子, 田中良明, 向山晴子, 鎌田明美, 飯塚俊子, 村上由香. グループワーク場面での住民の発言内容の変化とその要因. 日本健康教育学会, 1998: 6; 161-162

石渡正樹, 畑幸広, 岡知宏, 横森喜久美, 森千佳子, 藤本恵子, 國分めぐみ, 久村真紀江, 西野幸恵, 園中希依子, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働にむけて1—働きかけと働きかけ側の意識の変化—, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 249

森千佳子, 畑幸広, 石渡正樹, 岡知宏, 横森喜久美, 藤本恵子, 國分めぐみ, 久村真紀江, 西野幸恵, 園中希依子, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働にむけて2—参加者側の変化—, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 249

久村真紀江, 畑幸広, 石渡正樹, 岡知宏, 横森喜久美, 森千佳子, 藤本恵子, 國分めぐみ, 西野幸恵, 園中希依子, 岩永俊博, 畑栄一, 鳩野洋子, 福島富士子, 寺田宙. 住民との協働にむけて3—協働のための推進要因—, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 250

鈴木浩子, 鳩野洋子, 岩永俊博, 渡部育子. 保健活動への住民の参加意識の比較. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 270

岩永俊博, 石井享子, 太田敦子, 黒田裕子, 重本浩文, 植本真一, 細口貴雄. 渡辺好恵. 都道府県レベルでの公衆衛生研修のあり方. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 278

黒田裕子, 加川弘子, 田口裕香里, 佐々信子, 長澤脩一, 岩永俊博, 和田耕太郎. 地域づくり型保健活動による保健学科生の地区把握の状況. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 283

大西和子, 梅田弥生, 西岡和子, 佐藤純子, 高橋玉美, 岩永俊博. 「地域づくり型保健活動」による小規模町村等保健活動推進支援事業の取り組み(第1報). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 314

小根森敬子, 金子光延, 曾根智史, 吉田貴彦, 岡崎勲. 海外勤務者に対する派遣前健康管理対策の評価. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡, 1998.4

金子光延, 小根森敬子, 曾根智史, 吉田貴彦, 岡崎勲. 海外勤務者の帯同小児に対する渡航前健康管理対策. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡, 1998.4

曾根智史, 藤崎清道. 公衆衛生従事者卒後教育におけるケースメソッド導入の評価. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

康文江, 谷本佐理名, 齋藤和夫, 井口清也, 上野秀紀, 矢野浅美, 今川洋子, 原綾子, 布施寿美江, 柳沢経子, 土山典子, 小野志保, 岩崎祐子, 兵井伸行, 綿引信義, 曾根智史, 林正幸. 健診受診行動から健康づくりのあり方を考える—受診の有無とその社会的背景—. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998.10

金子光延, 曾根智史, 吉田貴彦, 岡崎勲. 企業における海外勤務者帯同小児の健康管理支援. 第45回日本小児保健

学会, 東京, 1998.10

石井敏弘, 山本光昭. 保健婦が考える保健事業の効果. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 197

筒井孝子. 業務量調査からみた新たな在宅保健福祉サービスのあり方に関する研究. 日本地域福祉学会第12回大会, 広島, 1998.6; 446-447

筒井孝子. 在宅高齢者の居住環境整備に関する研究(5)—全国905市町村における要介護度別住宅改修サービスの現状—. 日本建築学会大会, 福岡, 1998.9; 119-120

筒井孝子. 介護保険制度における要介護認定の考え方と今後の課題. 日本社会福祉学会第46回全国大会, 東京, 1998.10; 268

筒井孝子, 小山秀夫. 高齢者の問題行動に関する因子構造の妥当性. 第36回日本病院管理学会学術総会, 東京, 1998.10; 120

小山秀夫, 筒井孝子. 高齢者ケアサービス体制整備支援事業における高齢者の要介護度の変化に関する検討. 第36回日本病院管理学会学術総会, 東京, 1998.10; 121

筒井孝子. 問題行動の有無がケアに与える影響—療養型病床群, 老人保健施設, 特別養護老人ホーム入院, 入所者を対象として—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 571

武村真治, 橋本廸生, 古谷野亘, 長田久雄, 東山道之. 介護サービスが高齢者に及ぼす効果に関する介入研究—特別養護老人ホームにおける「声かけ」の効果の検証—. 第40回日本老年社会学会大会, 沖縄, 1998.7; 75

武村真治. NHS改革後のイギリスのプライマリ・ケアの現状と課題. 第21回日本プライマリ・ケア学会, 浦和, 1998.7; 213

武村真治. 老人保健事業における健康診査の費用関数とサービスの効率性. 第36回日本病院管理学会学術総会, 東京, 1998.10; 138

森美恵, 武村真治, 曾根智史, 中原俊隆. 地域保健に係わる広報活動に関する研究(1)—広報物の特性—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 268

武村真治, 森美恵, 曾根智史, 中原俊隆. 地域保健に係わる広報活動に関する研究(2)—広報活動の効果測定—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 269

白鞘康嗣, 近藤健文, 野網祥代, 里村一成, 中原俊隆, 武村真治, 藤崎清道, 府川哲夫, 潮見重毅. 市町村における保健婦活動を軸とした保健と福祉の連携について. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 277

野網祥代, 里村一成, 中原俊隆, 武村真治, 藤崎清道, 府川哲夫, 潮見重毅, 白鞘康嗣, 近藤健文. 市町村における母子保健サービス等の実施の現状. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 329

里村一成, 野網祥代, 中原俊隆, 潮見重毅, 府川哲夫, 武村真治, 藤崎清道, 白鞘康嗣, 近藤健文. 市町村におけるボランティア活動の現状. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 336

学術報告書等

藤崎清道, 石井敏弘, 精神医療に関わるコメディカルのあり方に関する研究報告書(主任研究者: 藤崎清道), 平成9年度厚生科学研究費補助金精神保健医療研究事業, 1998

藤崎清道, 曾根智史, 石井敏弘, 武村真治, オーストラリア等における診療報酬制度に関する調査研究 平成9年度報告書(主任研究者: 藤崎清道), 平成9年度厚生省社会保険基礎調査委託費: 急性期入院医療の定額支払いに関する調査研究事業, 1998

藤崎清道, 曾根智史, 石井敏弘, 武村真治, 包括的プロジェクトの評価に関する研究, 環境と健康問題を中心とした国際医療協力の在り方に関する研究 平成9年度研究報告書(主任研究者: 林謙治), 厚生省国際医療協力研究委託事業, 1998; 69-79

藤崎清道, 石井敏弘, 近年の精神障害者施策の動向と精神医療に関わるコメディカルの役割, 精神医療に関わるコメディカルのあり方に関する研究報告書(主任研究者: 藤崎清道), 平成9年度厚生科学研究費補助金精神保健医療研究事業, 1998; 11-18

藤崎清道, 曾根智史, ケースメソッド形式の授業導入の評価, 平成9年度公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究報告書(研究代表者: 古市圭治), 1998; 51-62

藤崎清道, 武村真治, 曾根智史, 大都市における保健・健康理由による移転者の実態と保健サービスの在り方に関する研究 1997年度報告書(主任研究者: 府川哲夫), 平成9年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1998,

藤崎清道, 武村真治, 保健サービスの効率性及びサービス量の決定要因に関する研究 1997年度報告書(主任研究者: 近藤健文), 平成9年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1998,

曾根智史, 上畑鉄之丞, 保健公務員教育に関する国際ワークショップ報告, 平成9年度公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究報告書(研究代表者: 古市圭治), 1998; 161-166

曾根智史, 武村真治, ソーシャルマーケティング理論を応用した, 生活者・消費者主体の地域保健福祉事業のあり

方に関する研究 1997年度報告書(主任研究者: 中原俊隆), 平成9年度厚生科学研究保健医療福祉地域総合調査研究事業, 1998,

石井敏弘, 精神医療施設における作業療法士と他専門職の連携および作業療法士としての専門性発揮の要件に関する調査, (主任研究者: 藤崎清道), 平成9年度厚生科学研究費補助金(精神保健医療研究事業)精神医療に関わるコメディカルのあり方に関する研究報告書, 1998; 75-120

筒井孝子, 保健医療福祉サービス供給指標調査研究事業報告書, 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 1998

筒井孝子, 介護型ホームヘルプサービスを中心にした高齢者の総合的支援についての実験事業・モデル事業報告書, 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 1998

筒井孝子, 看護サービスの実情把握に関する研究報告書, 財団法人医療経済研究機構, 1998

筒井孝子, 適切な医療サービス提供のための指標に関する研究報告書, 平成9年度厚生科学研究報告書, 1998

筒井孝子, 定額制を指向した看護業務量測定調査研究, 社団法人病院管理研究協会, 1998

筒井孝子, 包括的支払方式における看護業務量測定に関する研究, 平成9年度厚生科学研究報告書, 1998

筒井孝子, 保健医療福祉サービス供給指標調査研究事業一デイサービスにおける業務量調査一報告書, 社会福祉法人全国社会福祉協議会, 1998

武村真治, 医療サービスの消費者選択とその影響要因に関する研究報告書(主任研究者: 武村真治), 平成9年度厚生科学研究厚生科学特別研究事業, 1998

武村真治, 他, 医療費の自己負担増に伴う医療需要の価格弾力性に関する基礎的研究報告書(主任研究者: 南部鶴彦), 平成9年度老人保健健康増進等事業, 財団法人医療経済研究機構, 1998

視聴覚資料等

「ビデオ教材」

筒井孝子, やさしい「介護サービス計画」入門 全老協版 version III, I.S.T ユニコム, 1998

Proceedings with abstracts

Sone T, Fujisaki K, Nakahara T. Tobacco-related scenes in TV dramas in Japan. The 16th World Conference on Health Promotion and Health Education. San

Juan, Puerto Rico. Jun. 1998

Tsutsui T. Effects of health promotion projects for elderly living in cities in Japan on certifying the need for nursing care. 1st World Congress of Health and Urban Environment. Madrid. Jul. 1998

公衆衛生看護学部
Department of Public Health Nursing

原 著

村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 他, 保健婦の保健計

画・施策化能力に関する研究, 保健婦雑誌, 1998; 54(3): 220-228

丸山美知子, 在宅ケアに必要な看護・介護の数量化に関

する研究. 昭和医会誌. 1998; 58(4): 349-365

興水ヒカル, 栃原裕, 池田耕一, 岩田利枝, 市川勇, 石井享子, 他. 都市部高齢者住居の室内環境因子に関する実態測定調査. *J Human and Living Environment*. 1998; 5(2): 132-138

福島富士子. 産科病棟に勤務する看護職員の喫煙状況. 日本助産学学会誌. 1998; 11(2): 206-209

総 説

丸山美知子. 介護保険制度と保健婦の役割. 生活教育. 1998; 42(1): 11-15

山田和子. 家族形態別による痴呆性患者の在宅ケアプランと援助方法. トータルケア・マネジメント. 1998; 13(5): 21-23

山田和子. 手元におきたい参考図書. 保健婦雑誌. 1998; 54(8): 654-658

西田茂樹, 森雅加子, 鳩野洋子. 在宅ケアにおける薬局の役割. 保健婦雑誌. 1998; 54(10): 881-887

福島富士子. 予後不良を告知された小児をもつ家族(父親)への援助. 小児看護. 1998; 21(7): 852-855

福島富士子. 市町村母子保健計画を数量的に分析する. 保健婦雑誌. 1998; 54(12): 1002-1007

著 書

石井享子. 保健福祉支援におけるケアマネジメント. 高山忠雄編著. 保健福祉学 利用者の立場に立った保健福祉サービスの展開. 川島書店. 1998; 79-86

石井享子. 高齢者の介護・看護等の展開. 介護支援専門員ハンドブック. 全国社会福祉協議会. 1998; 198-215

石井享子. トップマネジメントの基礎としてのケアマネジメント. 高山忠雄編著. 保健福祉におけるトップマネジメントー保健福祉サービスの経営管理を考える. 中央法規出版. 1998; 11-21

石井享子. 訪問看護サービスをめぐる現状と課題. 高齢者ケア実践事例集. 第一法規. 1998; 45-60

抄録のある学会報告

植田悠紀子, 鳩野洋子, 福島富士子, 丸山美知子, 石井享子, 山田和子. 保健所における企画調整部門の状況. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 261

鳩野洋子, 植田悠紀子, 福島富士子, 丸山美知子, 石井享子, 山田和子. 会議における保健所の調整機能の評価. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 261

土橋理恵, 上田美穂, 植田悠紀子. 地域における脳血管死亡対策ー脳血管疾患関連の死亡状況ー. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 288

柳沢経子, 植田悠紀子. 保健所の市町村支援のあり方について. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 254

若山葉子, 荒巻琢巳, 植田悠紀子. 肝炎流行地区の予後の検討. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 626

島内節, 亀井智子, 丸山美知子, 他. 訪問看護業務内容

の難易度ランキングからみた看護の構造. 第18回日本看護科学学会, 札幌. 1998; 150

亀井智子, 島内節, 丸山美知子, 他. 訪問看護婦の判断に基づく看護と介護の業務範囲の検討. 第18回日本看護科学学会, 札幌. 1998; 151

成中政子, 田中久恵, 長谷部史乃, 斎藤泰子, 石井享子, 鳩野洋子. 総合相談におけるケアコーディネーション機能. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

佐々木昭彦, 鈴木晃, 石井享子, 松本安生. 高齢化と家庭・公共施設の共生特性(1)ユニバーサル化. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

永野富美子, 石井享子. 保健所保健婦と市町村保健婦の連携・支援のあり方に関する研究ーO157対策に焦点を当てて. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

岩永俊博, 石井享子, 太田敦子, 黒田裕子, 重本弘文, 概本真一, 細口貴雄, 渡辺好恵. 都道府県レベルでの公衆衛生研修のあり方. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

小河トシ, 石井享子. 保健・医療・福祉における連携葛藤の構造. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

山田和子, 佐藤拓代, 納谷保子, 小林美智子. 大阪府における児童虐待への援助(その4)ー保健婦活動のあり方一. 第45回日本小児保健学会, 東京. 1998.10; 702-703

佐藤拓代, 山田和子, 納谷保子, 小林美智子. 大阪府における児童虐待への援助(その5)ー母の育児基盤への効果的な援助の検討一. 第45回日本小児保健学会, 東京. 1998.10; 704-705

納谷保子, 小林美智子, 佐藤拓代, 鈴木敦子, 山本裕美子, 山田和子. 養育問題からみた育児不安についてー大阪府保健所保健婦調査結果より一. 第45回日本小児保健学会, 東京. 1998.10; 134-135

山本裕美子, 佐藤拓代, 山田和子, 納谷保子, 小林美智子. 子どものケアが不足する母親への援助. 第45回日本小児保健学会, 東京. 1998; 10; 138-139

山田和子, 佐藤拓代, 納谷保子, 小林美智子. 保健活動からみた子どもの虐待(その3)ー保健婦の援助の現状一. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 488

佐藤拓代, 山田和子, 納谷保子, 小林美智子. 保健活動からみた子どもの虐待(その4)ー機関の重症度判断一. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 488

山田寛子, 橘とも子, 三橋徹, 猿田恵子, 岡順子, 安藤実里, 小河トシ, 通山和美, 永野富美子, 森下典子, 佐々木玲子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の支援方法に関する研究(ジェネラリストの役割の検討)・その1. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 390

佐々木玲子, 三橋徹, 橘とも子, 猿田恵子, 山田寛子, 森下典子, 安藤実里, 小河トシ, 通山和美, 岡順子, 永野富美子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の支援方法に関する研究(在宅療養者アセスメント票)・その2. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 390

山路雅代, 土田妙子, 清水多実子, 毛受矩子, 山田和子, 他. 大阪府下保健所における子どもの虐待への援助. 第20

回全国地域保健婦学術研究会, 大阪. 1998.11; 188-189

久村真紀江, 山田和子. 低肺機能者の主観的幸福感に関連する要因. 第20回全国地域保健婦学術研究会, 大阪. 1998.11; 282-283

森千佳子, 山田和子. 結核菌陽性者肺結核患者の背景因子と予防可能例の分析—重症化予防に焦点をあてて—. 第20回全国地域保健婦学術研究会, 大阪. 1998.11; 332-333

鈴木浩子, 鳩野洋子, 岩永俊博, 他. 保健活動への住民の参加意識の比較. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 270,

石渡正樹, 畑幸広, 鳩野洋子, 福島富士子, 他. 住民との協働にむけて1. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 249

森千佳子, 畑幸広, 鳩野洋子, 福島富士子, 他. 住民との協働にむけて2. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 249

久村真紀江, 畑幸広, 鳩野洋子, 福島富士子, 他. 住民との協働にむけて3. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 250

成中政子, 田中久恵, 鳩野洋子, 他. 総合相談におけるケアコーディネーション機能. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 342

岩永俊博, 畑幸一, 鳩野洋子, 他. グループワーク場面の住民の発言内容の変化とその要因. 日本健康教育学会, 東京. 1998.6; 162-163

鳩野洋子. 日本更年期女性の健康観と医療施設受診状況—都市部と山間農村部の女性の意識・ライフスタイルの調査から. 日本更年期医学会, 横浜. 1998.11; 48(シンポジウム)

工藤芳子, 石塚文平, 鳩野洋子, 他. 日本女性のライフスタイルと更年期障害の関係について. 日本更年期医学会, 横浜. 1998.11; 123

村上輝代, 田中久恵, 鳩野洋子. ねたきり老人予防ニード把握調査—1人暮らし高齢者の実態調査—. 日本地域看護学会, 東京. 1998.6; 72

学術報告書等

植田悠紀子, 丸山美知子, 石井享子, 山田和子, 鳩野洋子, 福島富士子. 保健所および市町村における保健事業の評価方法の開発—会議における保健所の調整機能の評価について—. (主任研究者: 小倉敬一) 平成9年度保健所の機能強化に関する研究報告書, 1998; 41-48

石井享子. 21世紀に向けた新しい地域保健活動. 先駆的保健活動交流推進事業報告書. 1998

石井享子, 鳩野洋子, 他. 総合相談窓口におけるケア・コーディネーション機能に関する研究. (主任研究者: 田中久恵) 保健医療福祉地域総合調査研究事業, 地域保健における保健婦等の活動に関する研究報告書, 1998

植田悠紀子, 他. 地域保健推進に関するフォローアップ調査報告書. (主任研究者: 松浦十四郎) 日本公衆衛生協会. 1998

丸山美知子, 山田和子, 福島富士子, 石井享子, 鳩野洋子, 植田悠紀子. 保健婦の調査・研究の資質向上に関する研究. (主任研究者: 田中久恵) 平成9年度地域保健における保健婦等の活動に関する研究報告書, 1998; 290-315

丸山美知子, 他. 保健婦の保健計画・施策化能力の育成に関する研究. (主任研究者: 田中久恵) 平成9年度保健医療福祉地域総合調査研究事業: 地域保健における保健婦等の活動に関する研究報告書, 1998; 316-330

丸山美知子, 他. 諸外国における看護職の免許更新制に関する研究報告書. (主任研究者: 菱沼道子) 平成9年度厚生省看護研究費, 1998; 1-25

丸山美知子, 他. 介護保険の導入を展望した訪問看護業務分析に関する研究成果報告書 (主任研究者: 島内節). 1998; 1-47

山田和子. 養育問題から被虐待児の早期発見と予防を考える. (主任研究者: 小林美智子) 子どもの虐待予防にむけて—大阪府保健所における養育問題への援助実態—, 1998; 191-205

山田和子, 他. 子どもへのケアが不足している親. (主任研究者: 小林美智子) 子どもの虐待予防にむけて—大阪府保健所における養育問題への援助実態—, 1998; 94-103

岩永俊博, 鳩野洋子, 山田和子, 他. 「明日からの私を見ていてください」といえる研修をめざして97. (主任研究者: 岩永俊博) 平成9年度都道府県レベルでの研修体系のあり方と公衆衛生院としての支援体制に関する研究報告書, 1998

田中久恵, 鳩野洋子, 他. 世田谷区におけるねたきり予防のニード把握調査報告. 世田谷区, 1998.3

鳩野洋子, 他. 高齢者の「いきいき度」評価とねたきり予防活動のあり方に関する研究. 安田生命社会事業団研究助成論文集, 33. 1998.3

加藤則子, 山田和子, 他. 心の健康づくり事業の推進に関する研究. (主任研究者: 北川定謙) 市町村母子保健計画の評価に関する研究平成9年度研究報告書, 1998; 568-608

尾崎米厚, 福島富士子, 他. 市町村母子保健計画の評価に関する研究. (主任研究者: 北川定謙) 平成9年度心身障害研究報告書, 1998.11

Proceedings with abstracts

Tokie A, Hidefumi K, Tadao T, Yukiko I. Utilization of "Evaluation of Environmental Stimulation (ESS)" as predictive method for empowerment related to well-being 3 years later. XVI World Conference on

Health Promotion and Health Education. Puert Rico. Jun. 1998

Yamada K, Ueno M. The Activities of public health nurses concerned with child protection. Twelfth International Congress on Child Abuse & Neglect. Auckland, New Zealand. Sep. 1998; 181-182

Kamei T, Shimanouchi S, Hatono Y, et al. **Multy-institutional collaboration around visiting nursing**

station. Third International Nursing Research Conference. Tokyo. Sep. 1998 ; 259

生理衛生学部 Department of Physiological Hygiene

原 著

永田久雄, 佐々木昭彦, 酒井一博, 李善永. 高齢社会対応の労働環境づくりに関する意識調査—40歳代労働者と60歳以上の高齢者に対する調査—. 国立産業安全研究所研究報告. (印刷中)

総 説

大久保千代次. 日常生活における非電離放射線の環境について. 医療放射線防護 NEWSLETTER.1998 ; 22 : 3-8

大久保千代次. 電磁界の健康への影響. 保健婦雑誌. 1999 ; 55(2) : 153-165

抄録のある学会報告

浅野牧茂, 大久保千代次. コレステロール経口摂取による粥状硬化発生初期におけるウサギ皮膚微小循環系マクロファージの泡沫細胞化に及ぼす高脂血症治療薬投与の影響. 第23回日本微小循環学会総会, 盛岡. 1998.2

牛山明, 大久保千代次. 商用周波数の電磁環境がマウス背側皮膚窓内の白血球粘着性に及ぼす影響. 第23回日本微小循環学会総会, 盛岡. 1998.2

岡野英幸, 大久保千代次. 静磁場によるウサギ皮膚微小循環に対する血管運動調節作用について. 第23回日本微小循環学会総会, 盛岡. 1998.2

徐慎之, 大久保千代次. 磁場全身曝露の微小循環動態に及ぼす急性影響. 第23回日本微小循環学会総会, 盛岡. 1998.2

大久保千代次, 浅野牧茂. 皮膚微小循環からみた各種病態モデルとその評価. 第37回日本ME学会大会, 倉敷. 1998.5 (シンポジウム講演)

大久保千代次, 徐慎之, 浅野牧茂. ストレスと動脈硬化発生因子に関する実験的研究. 2. 第21回日本バイオレオロジー学会年会, 愛媛. 1998.6

岡野英幸, 大久保千代次. ウサギ皮膚微小循環から見た柴胡加竜骨牡蠣湯の抗昇圧作用. 第21回日本バイオレオロジー学会年会, 愛媛. 1998.6

牛山明, 大久保千代次. 商用周波数帯の電磁環境が白血球に及ぼす影響に関する研究. 第1回電磁界の健康影響に関するワークショップ, 国立がんセンター. 1998.1

牛山明, 大久保千代次. マウス乳腺腫増殖過程に及ぼす商用周波数磁界曝露の影響. 第2回電磁界の健康影響に関するワークショップ, 国立がんセンター. 1998.12

佐々木昭彦, 鈴木晃, 石井享子, 松本安生. 高齢化と家庭・公共施設の共生特性 (1) ユニバーサル化. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

内山巖雄, 佐々木昭彦, Manomaipiboon K, Hutacharoen R. R-R 間隔変動のスペクトル解析と生活温度: バンコクの生活行動 (1). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

佐々木昭彦, 内山巖雄, Manomaipiboon K, Hutacharoen R. 心拍数 R-R 変動特性に対するタイ人の生活行動と個人別温度環境の影響—バンコク郊外の大学職員の場合—. 第10回日本産業衛生学会産業神経行動研究会, 東京. 1998.7

佐々木昭彦, 内山巖雄, 本田靖, 原沢英夫. 温度の快適性をめぐって—地球温暖化の観点から. 熱伝導研究会・産業衛生学会温熱環境研究会共催シンポジウム2: 快適性, 東京. 1998.8

桜井博美, 牛山明, 尾崎米厚. 小中学校におけるエイズ教育に対する保健所の役割. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10

学術報告書等

大久保千代次, 他. ストレスと動脈硬化発生因子に関する実験的研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成9年度喫煙科学研究財団研究報告書, 1998 ; 338-342

大久保千代次, 牛山明. 皮膚微小循環を中心とする生体の循環動態に及ぼす電磁場の全身曝露影響に関する研究. (主任研究者: 大久保千代次) 平成9年度環境保全研究成果集, 1998 ; 18-1-18-13

大久保千代次, 牛山明, 他. 居住環境アメニティ研究「電磁界安全対策調査研究」. (主任研究者: 大久保千代次) 平成9年度厚生科学研究費補助金事業実績報告書, 1998 ; 1-59

内山巖雄, 佐々木昭彦, 兵井伸行, 他. 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—. 平成9年度環境庁地球環境総合研究「地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究 B-10(3)」, 1998.5

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 他. 自律分散都市の保健福祉機能からみた住民の満足感と健康意識の評価. 科学技術振興調整費総合研究「ゆとりや豊かさを実感できる生活環境・社会システムの設計に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998.5

佐々木昭彦, 石井享子, 望月友美子, 他. 自律分散都市の保健福祉機能からみた住民の満足感と健康意識の評価. 科学技術振興調整費総合研究「ゆとりや豊かさを実感できる生活環境・社会システムの設計に関する研究」総合報告書, 1998.7

佐々木昭彦. 社会集団の健康に対する温暖化の影響につ

いて、国立環境研究所地球環境研究グループ編：地球環境研究展望—地球の温暖化—(影響)，意-24-28，1998.8

佐々木昭彦，石井享子，鈴木晃．家庭・公共施設における共生特性のモデル化に関する研究．科学技術振興調整費生活・社会基盤研究「高齢社会における製品・生活環境等のユニバーサル化に関する研究」平成9年度報告書，1998.5

佐々木昭彦，石井享子，鈴木晃．地域における共生特性に関する研究．高齢社会における製品・生活環境等のユニバーサル化に関する研究(エイジレス・エンバイロメント・テクノロジー)平成9年度調査報告書(成果集)，1998.6；6-22

Originals

Xu S, Okano H, Ohkubo C. Subchorionic effects of static magnetic fields on cutaneous microcirculation in rabbits. *In Vivo*. 1998 ; 12 : 383-390

Gmitrov J, Ohkubo C. Static-magnetic-field effect on baroreflex sensitivity in rabbits. *Electro-and Magnetobiology*. 1998 ; 17(2) : 217-228

Books

Ohkubo C, Okano H, Xu S, Gmitrov J. Acute effects of threshold level of static magnetic fields on cutaneous microcirculation in rabbits. in "Symposium on New Magnetic Science '97". 1998 ; 313-321

Xu S, Ohkubo C. Acute effects of whole body exposures of static magnetic fields and 50 Hz electromagnetic fields on muscle microcirculation, heart rate and blood pressure in the mouse. in "Microcirculation annual. 1998 ; 14" (eds. Tsuchiya M, Asano M, Nozaka Y.). Nihon-Igakukan, Tokyo : 1998 ; 123-124

Asano M, Ohkubo C. Effects of lipid-lowering drug upon behavioral and structural changes of microcirculatory cellular elements, especially of macrophages, in the early stages of atherosclerosis observed intravital-microscopically in the cholesterol-fed rabbit. in "Microcirculation annual. 1998 ; 14" (eds. Tsuchiya M, Asano M, Nozaka Y.). Nihon-Igakukan,

Tokyo : 1998 ; 127-128

Okano H, Ohkubo C. Vasoconstricting effects of static magnetic fields on cutaneous microcirculation under decreased vascular tone in the rabbit. in "Microcirculation annual. 1998 ; 14" (eds. Tsuchiya M, Asano M, Nozaka Y.). Nihon-Igakukan, Tokyo : 1998 ; 131-132

Ushiyama A, Ohkubo C. Acute effects of extremely low frequency electromagnetic field on leukocyte adhesiveness in mice. in "Microcirculation annual. 1998 ; 14" (eds. Tsuchiya M, Asano M, Nozaka Y.). Nihon-Igakukan, Tokyo : 1998 ; 129-130

Ohkubo C, Okano H, Xu S, Gmitrov J. Studies on cutaneous microvascular responses to static magnetic field exposure in the rabbit. in "Microcirculatory aspect of Asian Traditional Medicine" (eds. Niimi H, Patumraj S, Tigno XT, Xio R-J). Monduzzi Editore S.p.A., Bologna : 1998 ; 35-50

Proceedings with abstracts

Ohkubo C, Xu S, Asano M. Experimental study on stress and arteriosclerotic factors in the rabbit. 2, *Biorheology*. 1998 ; 35 : 240

Okano H, Ohkubo C. Anti-pressor effects of Saikoka-ryukotsu-borei-to on cutaneous microcirculation in rabbits. *Biorheology*. 1998 ; 35 : 236-7

栄養生化学部

Department of Nutrition and Biochemistry

原著

上西一弘，江澤侑子，梶本雅俊，土屋文安．日本人若年成人女性における牛乳，小魚・野菜のカルシウムの吸収率．日本栄養・食糧学会誌．1998 ; 51(5) : 259-266

川野因，武田一，鈴木妙子，梶本雅俊．女子学生ランナーの合宿時における鉄補足が赤血球 ALAD 活性に及ぼす影響．栄養学雑誌．1998 ; 56(5) : 265-275

近藤雅雄，木島聡，市川勇，大門真，堀江裕．慢性砒素被曝経験者のポルフィリン代謝異常．ポルフィリン．1998 ; 7(1) : 51-57

田中利明，中村磐男，荒井二三夫，山村行夫，近藤雅雄，吉田勝美．鉛暴露と尿中ポルフィリン体一特にベンタおよ

びヘキサカルボキシルポルフィリン体への影響一．ポルフィリン．1998 ; 7(1) : 45-50，

山崎聖美．顆粒球中性プロテアーゼのNK細胞に対する作用．侵襲と免疫．1998 ; 7(4) : 107-110

著書

梶本雅俊，佃篤彦，足立巳幸，藤沢良知．公衆栄養学 第4版．鈴木健編．医歯薬出版，東京：1998

近藤雅雄，矢野雄三．ポルフィリン，ヘム：概論．先天性代謝異常症候群 下巻，一遺伝子解析の進歩と成果一，別冊日本臨牀，領域別症候群シリーズ No.19，日本臨牀社，1998 ; 119-135

矢野雄三，近藤雅雄．急性間欠性ポルフィリン症．先天

性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 136-138

矢野雄三, 近藤雅雄. 異型ポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 139-140

矢野雄三, 近藤雅雄. 遺伝性コプロポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 141-142

矢野雄三, 近藤雅雄. ALA脱水酵素欠損性ポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 143-144

近藤雅雄, 矢野雄三. 肝性骨髄性ポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 149-151

近藤雅雄, 矢野雄三. 晩発性皮膚ポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 145-148

近藤雅雄, 矢野雄三. 先天性骨髄性ポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 152-154

近藤雅雄, 矢野雄三. 骨髄性プロトポルフィリン症. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 155-157

近藤雅雄, 矢野雄三. 鉄芽球性貧血. 先天性代謝異常症候群 下巻, 一遺伝子解析の進歩と成果一, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.19, 日本臨牀社, 1998; 158-160

近藤雅雄, 矢野雄三. 鉛中毒. 鉛中毒によるポルフィリン症, 血液症候群 I, 別冊日本臨牀, 領域別症候群シリーズ No.20, 日本臨牀社, 1998; 487-490

抄録のある学会報告

川野因, 植原吟子, 海老根みゆき, 武田一, 梶本雅俊, 佐藤文代, 福田栄美子, 水沼俊美. ヘモグロビン合成酵素活性に及ぼす宿泊及び食事の影響. 第52回日本栄養・食糧学総会, 沖縄, 1998; 172

布川直子, 佐藤加代子, 梶本雅俊, 高野陽. 三歳児の食事の問題の影響に及ぼす要因について. 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998; 164

梶本雅俊. 実践的栄養改善. 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998

梶本雅俊. 公衆栄養研究の普及教育. 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998 (学会賞要旨)

梶本雅俊. 個人別栄養調査の互換性の検討(第1-29報のまとめ). 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998

梶本雅俊. 環境—ライフスタイル—食品群摂取—食品摂取頻度と量—栄養素摂取量—血液性状—健康状態. 各層情報の調査項目間の相互関連. 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998

梶本雅俊. 因子分析と公衆栄養計画・活動・評価への応用研究. 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998; 53

一宮頼子, 梶本雅俊, 青山旬, 福田雅臣, 丹羽源男. 地域歯科保健における口腔内状況の客観的評価の検討—デンタル—プレスケール—. 第47回日本口腔衛生学会総会, 仙台, 1998; 396-397

近藤雅雄, 堀江裕. ポルフィリン症の簡易鑑別診断法の開発. 日本消化器関連学会週間, DDW-Japan 1998, 横浜, 1998.4

佐伯俊一, 細井仁, 林星舟, 田中武, 柴山隆男, 大竹寛雄, 田中慧, 近藤雅雄. 肝細胞癌におけるポルフィリン代謝の検討. 日本消化器関連学会週間, DDW-Japan 1998, 横浜, 1998.4

田中俊明, 中村磐男, 荒井二三夫, 近藤雅雄, 吉田勝美. 低濃度鉛暴露による尿中ポルフィリン体微量成分への影響. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡, 1998.4

近藤雅雄, 木島聡. 元ひ素中毒患者のポルフィリン代謝変化について. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡, 1998.4

市川勇, 斉藤和夫, 近藤雅雄. 塩化セリウム経口投与マウスの消化器官における活性酸素発生酸化還元系成分の変動. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡, 1998.4

岡野淳一, 堀江裕, 前田直人, 岸本幸広, 三浦邦彦, 近藤雅雄, 川崎寛中. 晩発性皮膚ポルフィリン症に対するシメチジンの投与効果について. 第35回日本臨床代謝学会学術総会, 東京, 1998.3

佐々木祐一郎, 堀江裕, 米本哲人, 前田直人, 難波栄二, 足立香織, 川崎寛中, 近藤雅雄. 多様性ポルフィリン症の遺伝子解析—本邦第一例報告—. 第25回ポルフィリン研究会, 東京, 1998.5

田中利明, 中村磐男, 荒井二三夫, 山村行夫, 近藤雅雄, 吉田勝美. 鉛暴露と尿中ポルフィリン体—特にペンタおよびヘキサカルボキシルポルフィリン体—への影響. 第25回ポルフィリン研究会, 東京, 1998.5

近藤雅雄, 市川勇, 木島聡. 急性間欠性ポルフィリン症と診断された慢性ひ素被曝経験者のポルフィリン代謝異常. 第25回ポルフィリン研究会, 東京, 1998.5

上田周, 檜垣祐子, 川島真, 近藤雅雄. 骨髄性プロトポルフィリン症の父子例. 日本皮膚科学会第737回東京地方会, 東京, 1998.4

堀江裕, 岡野淳一, 米本哲人, 三浦邦彦, 前田直人, 近藤雅雄, 川崎寛中. 晩発性皮膚ポルフィリン症に対する新しい治療—シメチジンの投与効果について—. 第2回日本肝臓学会大会, 金沢, 1998.10

佐々木祐一郎, 堀江裕, 米本哲人, 前田直人, 難波栄二, 足立香織, 川崎寛中, 近藤雅雄. 多様性ポルフィリン症の

遺伝子解析一本邦第一例報告一. 第2回日本肝臓学会大会, 金沢. 1998.10

坂井公, 木村剛典, 近藤雅雄, 上畑鉄之丞, 荒木高明, 大菅俊明. 自衛隊訓練中に発生した火山ガス中毒患者の血清中硫化水素濃度. 第46回日本災害医学会学術大会, 名古屋. 1998.10

猿田恵子, 饗場直美. X線照射によって引き起こされるリンパ球の細胞死における細胞内変化と細胞内プロテアーゼの活性変化. 第71回日本生化学会大会, 名古屋. 1998.10

山崎聖美, 青木洋祐. 顆粒球中性プロテアーゼのNK細胞に対する作用について. 第3回病態と治療におけるプロテアーゼとインヒビター研究会, 名古屋. 1998; 54

青木洋祐, 吉田幸代, 渡辺朗子, 山崎聖美. 顆粒球中性プロテアーゼ活性に対する運動の影響. 第3回病態と治療におけるプロテアーゼとインヒビター研究会, 名古屋. 1998; 54

山崎聖美, 青木洋祐. カテプシンGがNK細胞に与える影響について. 第71回日本生化学会大会, 名古屋. 1998; 70: 999

須藤紀子, 上畑鉄之丞. 労働時間と職務ストレスからみた喫煙と飲酒習慣の動向に関する研究. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡. 1998.4; 608

須藤紀子, 上畑鉄之丞. 労働態様と職務ストレスからみた職種別喫煙・飲酒傾向. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998; 600

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畑鉄之丞. 保健所栄養士の卒後教育と職能訓練に関する研究. 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998; 173

学術報告書等

梶本雅俊. 保健所栄養士の研修事例: 地域栄養モニタリング. 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究 1997年度報告書. 平成9年度総合的地域健康教育検討事業, 1998; 137-148

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畑鉄之丞. 保健所栄養士の卒後研修に関する研究. 公衆衛生における卒後教育研修体系に健する研究 1997年度報告書. 平成9年度総合的地域健康教育検討事業, 1998; 117-136

山本茂貴, 饗場直美. 放射線によるリンパ球の細胞死(apoptosis)のメカニズムの解析およびその回避因子に関する研究. 平成8年度国立機関原子力試験研究成果報告書. 第37集: 101-1~4, 1998

Originals

Yuyama S. Absorption of trigonelline from the small intestine of specific patho-gen-free (SPF) and germ-free (GF) rat in vivo. *Adv Exp Med Biol.* 1998; 407: 503-506

Kondo M, Aiba N, Li H, Ichikawa I. Changes in porphyrin metabolism in the liver, kidney and spleen following a single oral dose of an inorganic arsenic compound in mice. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 452-456

Susa S, Daimon M, Yamamori I, Kondo M, Yamatani K, Sasaki H, Kato T. A novel mutation of coproporphyrinogen oxidase (CPO) gene in a Japanese family. *J Hum Genet.* 1998; 43: 182-184,

Furuyama K, Uno R, Urabe A, Hayashi N, Fujita H, Kondo M, Sassa S, Yamamoto M. R411C mutation of the ALAS2 gene encodes a pyridoxine-responsive enzyme with low activity. *British J Haematology.* 1998; 103: 839-841

Susa S, Daimon M, Kondo H, Kondo M, Yamatani K, Sasaki H. Identification of a novel mutation of the CPO gene in a Japanese hereditary coproporphyrria family. *American J Med Genet.* 1998; 80: 204-206

Horie Y, Maeda N, Kawasaki H, Watanabe M, Mishihiro S, Kondo M. Porphyria cutanea tarda and HCV infection. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 135-140

Nakayama K, Kondo M, Urata G, Shirataka M, Yano Y. Porphyria in Japan. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 258

-262

Daimon M, Susa S, Morita Y, Kondo M, Yamamori I, Sasaki S, Kato T. CPO gene mutation in Japanese HCP families and their effects on CPO protein. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 164-169

Fujioka Y, Kondo M. A study of urinary profile from patients with various porphyrin metabolic disease. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 263-268

Ueda S, Higaki Y, Kawashima M, Kondo M. Two patients with erythropoietic protoporphyria in a family. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 269-273

Kishimoto Y, Mukaiyama T, Tanaka K, Nishimukai E, Tokumoto A, Nakaoka A, Shaka N, Kojo H, Miura K, Horie Y, Kawasaki H, Kondo M. Clinical course of porphyria cutanea tarda diagnosed after interferon therapy in a case of chronic hepatitis type C. *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 325-330

Tanaka T, Nakamura I, Kondo M, Sakai T, Yoshida K. Lead exposure and porphyrins in urine (Part 2). *Porphyryns.* 1998; 7(2-3): 433-438

Saeki S, Nagayama I, Hayashi H, Tanaka T, Shibayama T, Otake H, Tanaka K, Kondo M. The study of porphyrin metabolism in hepatocellular carcinoma. *Porphyryns.* 1998; 7: 474-475

Okamoto K, Maeda N, Mitsuda S, Oyama K, Koda M, Shiota T, Murawaki Y, Horie Y, Suo T, Kawasaki H, Kondo M, Kashiki R, Inoue T. A dramatic response of chronic hepatitis type C associated with porphyria

cutanea tarda due to Interferon- β . *Porphyria*. 1998; 7(2-3): 334-338

Fukuhara M, Kurose K, Aiba N, Matsunaga N, Omata W, Kato K, Kimura M. **A major phenobarbital-inducible P450 isozyme, CYP2A14, in the Chinese hamster liver: Purification, characterization, and cDNA cloning.** *Arch Biochem Biophys*. 1998; 359: 241-248

Yamazaki T, Aoki Y. **Cathepsin G enhances human natural killer cytotoxicity.** *Immunology*. 1998; 93: 115-121

Review

Okano J, Horie Y, Kawasaki H, Kondo M. **Porphyria cutanea tarda and chronic hepatitis C virus infection: outcome after interferon therapy.** *Review Series Hepatitis*. 1998; 2: 8-23

Proceeding with abstracts

Yuyama S. **Absorption of trigonelline from the small intestine of SPF and GF rats in vivo.** 9th International Meeting on Tryptophan Research. Hamburg, Germany. Oct. 1998; 128(P11)

Kajimoto M. **Nutritional intervention strategy to lifestyle-related diseases.** (in Japanese Community-Nutrition and Public Health Field) The 2nd Asian Congress of Dietetics. Seoul, Korea. Aug. 1998; 26

Horie Y, Kondo M, Watanabe M. **Porphyria cutanea tarda and HCV infection.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998(Symposium)

Kondo M, Ichikawa I, Li F, Tanaka T, Nakamura I. **Effects of disodium arsenate on the porphyrin metabolism in mice.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Fujioka Y, Kondo M. **A study of urinary profile from patients with various porphyrin metabolic disease.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Furuyama K, Uno R, Urabe A, Hayashi N, Fujita H, Kondo M, Sassa S, Yamamoto M. **R411C mutation of the ALAS2 gene encodes a pyridoxine-responsive enzyme with low ALAS activity.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998; 7

Nakayama K, Kondo M, Urata G, Shirataka M, Yano Y. **Porphyria in Japan.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Ueda S, Higaki Y, Kawashima M, Kondo M. **Two patients with erythropoietic protoporphyria in a family.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium.

Yonago. Oct. 1998

Sasaki Y, Horie Y, Maeda N, Yonemoto T, Namba E, Adachi K, Kawasaki H, Kondo M. **Molecular basis of variegate porphyria in Japan—The 1st case of gene analysis.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Sasaki Y, Maeda N, Horie Y, Kudo Y, Takada M, Namba E, Adachi K, Kawasaki H, Kondo M. **Molecular basis of variegate porphyria in Japan—The 2nd case of gene analysis.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Ochiai K, Kameyama Y, Nagai Y, Sugimoto M, Sumino Y, Isogai S, Kondo M, Ichikawa I. **Effects of phenytoin on porphyria cutanea tarda.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Kishimoto Y, Mukaiyama T, Tanaka K, Nishimukai E, Tokumoto A, Nakaoka A, Shaka N, Kojo H, Miura K, Horie Y, Kawasaki H, Kondo M. **Clinical course of porphyria cutanea tarda diagnosed after interferon therapy in a case of chronic hepatitis type C.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Tanaka T, Nakamura I, Kondo M, Sakai T, Yoshida K. **Lead exposure and porphyrins in urine. Part 2.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998; 14

Saeki S, Nagayama I, Hayashi H, Tanaka T, Shibayama T, Otake H, Tanaka K, Kondo M. **The study of porphyrin metabolism in hepatocellular carcinoma.** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Okamoto K, Maeda N, Mitsuda S, Oyama K, Koda M, Shirota T, Murawaki Y, Horie Y, Suo T, Kawasaki H, Kondo M, Kashiki R, Inoue T. **A dramatic response of chronic hepatitis type C associated with porphyria cutanea tarda due to Interferon- β .** The 4th International Porphyria-Heme Symposium. Yonago. Oct. 1998

Aoki Y, Yosida Y, Watanabe A, Yamazaki T. **Effect of exercise and nutrition on the activity of anti-cancer proteases in granulocytes.** Proceedings of proteases and protease inhibitors in cancer. Denmark. 1998; A-3

Report

Sudo N, Kajimoto M, Suzuki T, Katsuragi M, Prelis K, Fernando D, Wijayaweera D D, Weerakoon S. **Differences in dietary sources of selected nutrients between urban and rural Sri Lankans.** *J Natl Inst Public Health*. 1998; 47(1): 39-43

衛生微生物学部 Department of Microbiology

原 著

小澤茂, 山上達也, 渡辺由香里, 町田篤彦, 横山宏, 西尾治. 高等学校の学生寮におけるアデノウイルス7型の流行. 臨床とウイルス. 1998; 26: 226-237

西尾治, 松井清彦, 秋山美穂, 南部みほ, 岡知宏, 松永泰子, 井上栄. アデノウイルス7型に対する過去20年間の抗体保有状況の推移. 臨床とウイルス. 1998; 26: 255-259

河野喜美子, 山田亨, 八木利喬, 伊藤健一郎. 散発下痢症患者からの腸管凝集性大腸菌の検出. 感染症学雑誌. 1998; 72: 1275-1282

天野優子, 渡辺純一, 荒木国興. 寄生虫疾患診断法としての dot-ELISA 法の比較: 肺吸虫症134例, マンソン孤虫症35例についての検討. 病体生理誌. 1998; 31: 117-123

総 説

西尾治, 松井清彦, 岡知宏, 秋山美穂, 南部みほ. アデノウイルス7型感染症. 感染・炎症・免疫. 1998; 28: 51-52

西尾治. SRSV の PCR とマイクロハイブリダイゼーション法について. 病原微生物検出情報. 1998; 19: 6

西尾治. SRSV の PCR とマイクロハイブリダイゼーション法について. LABEAM. 1998; 20(8): 2

著 書

伊藤健一郎. 赤痢菌. 食中毒予防必携. 日本食品衛生協会, 1998; 80-85

抄録のある学会報告

市川勇, 田中勝, 井上雄三, 山田正人, 今岡浩一, 大村実, 田中昭代. 都市ゴミ焼却灰の長期間摂取による雄ラットの体重, 臓器重量および IgE 抗体産生に対する影響. 第9回廃棄物学会, 名古屋. 1998.10

今岡浩一, 木村昌伸, 山崎省二. 経胎盤感作によるアレルギー特異的 IgE の新生仔への産生誘導. 第28回日本免疫学会総会, 神戸. 1998.12

中島節子. インフルエンザウイルスの遺伝子解析. 衛生微生物技術協議会第19回研究会, 千葉. 1998.7 (シンポジウム)

鈴木映子, 野口章, 中島節子. Paramyxovirus (HVJ) の機能抗原エピトープの解析. 第46回日本ウイルス学会, 東京. 1998.10

中島節子, 西川文雄, 森下高行, 中島捷久. インフルエンザ A(H1N1) ウイルス H1 ヘマグルチニンの分子進化—新旧 H1N1 ウイルスの比較. 第46回日本ウイルス学会, 東京. 1998.10

中島節子. インフルエンザ研究の新しい展開. 第13回関東甲信静支部ウイルス研究会, 熱海. 1998.10

鈴木博, 尾沢ますみ, 勝又晴美, 高橋修和, 西尾治. 1996

年及び1997年タイ国で分離されたインフルエンザウイルスの抗原解析. 第72回日本感染症学会, 大阪. 1998.4

小澤茂, 山上達也, 渡辺由香里, 町田篤彦, 横山宏, 西尾治. アデノウイルス7型による呼吸器疾患の集団発生調査. 第39回日本臨床ウイルス学会, 札幌. 1998.6

西尾治, 松井清彦, 秋山美穂, 南部みほ, 松永泰子, 井上栄. アデノウイルス7型に対する過去20年間の抗体保有状況の推移. 第39回日本臨床ウイルス学会, 札幌. 1998.6

南部みほ, 西尾治, 栄賢司, 牛島廣治, 磯村思无. パキスタンにおける乳幼児下痢症の病因ウイルスについて. 第39回日本臨床ウイルス学会, 札幌. 1998.6

西尾治. SRSV 研究の動向. 衛生微生物技術協議会第19回研究会, 千葉. 1998.7

西尾治, 鈴木博, 南部みほ, 秋山美穂, 加藤由美子, 松井清彦, 久松栄, 長谷川斐子. 輸入食品のウイルス学的安全性について. 第46回日本ウイルス学会総会, 東京. 1998.10

鈴木博, 西尾治, 加藤由美子, 南史郎. タイ国におけるインフルエンザウイルスの抗原変異. 第46回日本ウイルス学会総会, 東京. 1998.10

藤本嗣人, 近平雅嗣, 西尾治, 岡藤輝夫. アデノウイルス3および7型を検出・区別するための PCR 法の検討. 第41回日本感染症学会中日本地方会総会, 神戸. 1998.11

長谷川斐子, 西尾治, 加藤由美子, 松野重夫, 井上栄, 磯村思无. パキスタンの乳幼児より分離されたポリオウイルスの性状. 第39回日本熱帯医学会大会, 那覇. 1998.11

田村和満, 伊藤健一郎, 渡辺治雄, 坂崎利一. 過去2年間に同定した O157: H7 以外の志賀毒素産生性大腸菌 (STEC) 血清型. 第71回日本細菌学会総会, 松本. 1998.4

泉谷秀昌, 和田昭仁, 寺嶋淳, 伊藤健一郎, 田村和満, 渡辺治雄. 腸管出血性大腸菌 O157: H7 のファージ型別解析. 第71回日本細菌学会総会, 松本. 1998.4

寺嶋淳, 和田昭仁, 泉谷秀昌, 伊予田淳, 伊藤健一郎, 田村和満, 渡辺治雄. 1997年における腸管出血性大腸菌 O157: H7 のパルスフィールド電気泳動法による動向調査. 第71回日本細菌学会総会, 松本. 1998.4

森田耕司, 柴田幹良, 伊藤健一郎, 渡辺登, 和田博志, 金森政人. RPKM プライマーを用いた RAPD 解析の分子疫学的有用性. 第71回日本細菌学会総会, 松本. 1998.4

伊藤健一郎. 病原性大腸菌の病原因子について. 衛生微生物技術協議会第19回研究会, 千葉. 1998.7

山崎浩, 荒木国興, Ngah Z, Lim PK, Mak JW, Radzan T, 渡辺洋一, 北潔, 青木孝. 組換え犬回虫のヒト犬 (猫) 回虫免疫診断への応用. 第39回日本熱帯医学会大会, 那覇. 1998.11

学術報告書等

西尾治. 輸入食品のウイルス学的安全性に係る研究: マイクロプレートハイブリダイゼーションによる SRSV の

PCR 増幅 DNA の確認について, 厚生科学特別研究新興・再興研究事業 下痢症ウイルス研究班 (主任研究者: 宮村達男) 平成 9 年度厚生科学特別研究事業報告, 1998

西尾治. 遺伝子操作法による原虫の検出法に関する研究. 厚生科学特別研究新興・再興研究事業水道水クリプトスポリジウム研究班 (主任研究者: 国包章一) 平成 9 年度厚生科学特別研究事業報告, 1998

西尾治. A 型肝炎ウイルスの二枚貝における検査法に関する研究. 厚生科学特別研究食品衛生調査事業 A 型肝炎

ウイルスの検出法に関する調査研究 (主任研究者: 武田直和) 平成 9 年度厚生科学特別研究事業報告, 1998

西尾治. SRSV 感染について. ウイルス検査技術連絡会, 1998

荒木国興. 原虫検出法の検討. 厚生科学特別研究新興・再興研究事業 水道水クリプトスポリジウム研究班 (主任研究者: 国包章一) 平成 9 年度厚生科学特別研究事業報告, 1998

Originals

Kawabata S, Miller CJ, Lehner T, Fujihashi K, Kubota M, McGhee JR, Imaoka K, Hiroi T, Kiyono H. Induction of Th2 cytokine expression for p27-specific IgA B cell responses after targeted lymph node immunization with simian immunodeficiency virus antigens in rhesus macaques. *J Infect Med.* 1998; 177: 26-33

Imaoka K, Ono F, Hamano M, Inouye S, Yoshikawa Y. Presence of anti-ovalbumin IgE antibody in the sera of laboratory-reared squirrel monkeys (*Saimiri sciureus*) fed quail eggs. *Exp Anim.* 1998; 47: 195-197

Imaoka K, Miller CJ, Kubota M, McChesney MB, Lohman B, Yamamoto M, Fujihashi K, Someya K, Honda M, McGhee JR, Kiyono H. Nasal immunization of non-human primates with simian immunodeficiency virus p55gag and cholera toxin adjuvant induces Th1/Th2 help for virus-specific immune responses in reproductive tissues. *J Immunol.* 1998; 161: 5952-5958

Sugieda M, Nagaoka H, Kakishima Y, Ohshita T, Nakajima S. Detection of Norwalk-like virus genes in the caecum contents of pigs. *Arch Virol.* 1998; 143: 1215-1221

Tong N, Nobusawa E, Morishita T, Nakajima S, Nakajima K. M protein correlates with receptor-binding specificity of haemagglutinin protein of reassortant influenza A (H1N1) virus. *J Gen Virol.* 1998; 79: 2425-2434

Izumiya H, Masuda T, Ahmed R, Khakhria R, Wada A, Terajima J, Ito K, Johnson WM, Konuma H, Shinagawa K, Tamura K, Watanabe H. Combined use of Bacteriophage typing and pulsed-field gel electro-

phoresis in the epidemiological analysis of Japanese isolates of enterohemorrhagic *Escherichia coli* O157: H7. *Microbiol Immunol.* 1998; 515-519

Tanimoto T, Shirota K, Ohtsuki Y, Araki K. Eosinophilic proliferative pyelphlebitis in the liver of Japanese beef cattle with fascioliasis. *J Vet Med.* 1998; 60: 1073-1080

Yamasaki H, Taib R, Watanabe Y, Mak JW, Zasmy N, Araki K, Chooi LPK, Kita K, Aoki T. Molecular characterization of a cDNA encoding an excretory-secretory antigen from *Toxocara canis* second stage larvae and its application to the immunodiagnosis of human toxocariasis. *Parasitol Int.* 1998; 47: 171-181

Proceedings with abstracts

Yamasaki H, Araki K, Ngah Z, Mak JW, Radzan T, Watanabe Y, Aoki T. Development of a highly specific recombinant *Toxocara canis* antigen for immunodiagnosis of human toxocariasis. IXth International Congress of Parasitology. Chiba. 1998

Hyashi K, Tsumita Y, Nada Y, kawada E, Fukazawa K, Shinonome S, Naruse T, Kano S, Suzuki M, Araki K. A case of sparganosis. IXth International Congress of Parasitology. Chiba. 1998

Report

Nishio O. Epidemiological and virological study on factors affecting maternal child transmission of HIV in developing countries. 発展途上国の HIV 母子感染の実態と防止に関する研究 (主任研究者: 高野陽) 国際医療委託研究報告, 1998

母子保健学部

Department of Maternal and Child Health

原 著

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎, 衛藤隆, 中谷茂, 中川洋, 水田隆三, 谷口繁. 小児救急医療の実態調査 第一報—全国病院での小児救急医療の現状と問題点—. 小児科

診療. 1998; 61(2): 285-289

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎, 衛藤隆, 武谷茂, 中川洋, 水田隆三, 谷口繁. 小児救急医療の実態調査 第二報—全国病院での小児救急医療の現状と問題点—. 小児科診療. 1998; 61(2): 278-284

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康, 武谷茂, 中川洋, 谷口繁. 小児救急医療の現状と問題点の検討. 日本医事新報. 1998; 3861: 26-31

石井博子, 田中哲郎, 杉山太幹, 岡智康, 小林麻衣子. わが国の事故死亡率の国際比較. 保健の科学. 1998; 40: 794-799.

田中哲郎, 市川光太郎, 山田至康. 小児救急医療の現状と今後への提言. 小児科. 1998; 39(13): 1493-1500

小林正子, 小林麻衣子. 発達段階と事故. 保健の科学. 1998; 40(10): 777-782

小林正子, 衛藤隆. 小学生における夏の発育に関する一考察. *Auxology*. 1998; 5: 24-26

高岸由香, 小林正子, 東郷正美, 辻葉子. '95兵庫県南部地震が小学生の発育に与えた影響. *Auxology*. 1998; 5: 27-29

小林正子. 子どもの肥満とやせに関する近年の動向とその背景. 公衆衛生研究. 1998; 47(3): 237-246

加藤忠明, 高野陽, 宮原忍, 平山宗宏, 安藤朗子, 山口規容子, 佐藤紀子, 鍵孝恵, 加藤則子, 松浦賢長. 育児支援のあり方に関する研究—低年齢児保育等と母児の健康—. 日本子ども家庭総合研究所紀要(平成9年度). 1998; 34: 125-136

加藤則子, 高石昌弘. 胎児期から乳児期にかけての身長・頭囲発育に関する検討. *Auxology*. 1998; 5: 11-13

佐藤加代子. 公衆栄養活動—地域における子どもの健康づくりの必要性—. 臨床栄養. 1998; 93(2): 135

佐藤加代子. 公衆栄養活動—地域における子どもの健康づくりは多職種の連携の手で—. 臨床栄養. 1998; 93(5): 579

佐藤加代子. 公衆栄養活動—地域母子保健における栄養士の役割—. 臨床栄養. 1998; 93(7): 811

柿山哲治, 武川素子, 高石昌弘, 八倉巻和子, 大森世郁子. 小学校における食生活指導の実態—往復葉書による全国抽出調査結果より—. 学校保健研究. 1998; 40(1): 66-74

総 説

田中哲郎. 子どもの事故防止のための安全指導. 小児科臨床. 1998; 51(2): 289-297

田中哲郎. 子どもの不慮の事故. やまなし小児保健. 1998; 15: 4-9

田中哲郎. 小児の事故予防. 公衆衛生. 1998; 62(4): 225-259

田中哲郎. うつぶせ寝と窒息事故. 小児科. 1998; 39(4): 282-204

田中哲郎, 小林正子. わが国における乳幼児突然死症候群の実態. 公衆衛生情報. 1998; 28(9): 32-33

田中哲郎, 加藤則子, 小田清一, 北島智子, 武田泰久. わが国の乳幼児突然死症候群 (SIDS). 公衆衛生研究. 1998; 47(3): 208-217

田中哲郎. わが国の乳幼児事故. 公衆衛生研究. 1998; 47(3): 218-225

山田至康, 市川光太郎, 田中哲郎. 育児不安と小児救急医療. 公衆衛生研究. 1998; 47(3): 247-251

田中哲郎, 向井田紀子, 岡智康, 小林麻衣子. わが国における小児事故. 保健の科学. 1998; 40: 764-769

田中哲郎, 向井田紀子. 骨折・ねんざ. 保育の共. 1998; 46

田中哲郎, 小林正子. 守れ!!子どものいのち 2「子どもの事故防止」. 公衆衛生情報. 1998; 28(10): 32-33

田中哲郎, 小林正子. 守れ!!子どものいのち 3「少子化時代における小児救急医療」. 公衆衛生情報. 1998; 28(11): 32-33

小林正子, 田中哲郎. 守れ!!子どものいのち 4「エイズの現状と今後の取り組み」. 公衆衛生情報. 1998; 28(12): 32-33

加藤則子. 母子保健統計からみた妊娠・出産・中絶. ペリネイタルケア. 1998夏期増刊リプロダクティブヘルス/ライツ. 1998; 17: 90-97

加藤則子. 乳幼児の発育と栄養法等に関する最近の知見. 公衆衛生研究. 1998; 47: 226-236

著 書

田中哲郎. 子どもの住宅内事故. 日本住宅会議編. 住宅白書1998. ドメス出版. 1998; 50-53

田中哲郎. 総論. 小児の心肺蘇生マニュアル. 日本小児医事出版. 東京. 1998; 1-8

田中哲郎, 内山有子. インフルエンザ. 養護教諭実務研修会編. 第一法規出版. 東京. 1998; 第3章21. 1-9

田中哲郎. 小児のCPR. それは誰の手で. 須崎紳一郎監修. CPR; 救命蘇生. メディカルサイエンスインターナショナル. 1998; 197-202

小林正子. 健康に関する法制化の体系的充実. 辻道夫編著. 生涯健康教育の研究. 八千代出版. 東京. 1998; 205-213

衛藤隆, 小林正子. 肥満・やせ. 日本学校保健会編. 学校保健の動向. 東山書房. 東京. 1998; 50-56

加藤則子. 母子保健の水準. 鈴木庄亮, 他編. シンプル衛生公衆衛生学. 南江堂. 東京. 1998; 175-181

加藤則子. 母子保健と学校保健. 多々羅浩三編. 新しい地域保健サービス到達水準とその進め方. ぎょうせい. 東京. 1998; 45-87

抄録のある学会報告

田中哲郎. 子どもの事故と防止. 第24回日本児童安全学会. 東京. 1998.2 (特別講演)

田中哲郎. 小児の救急医療. 第59回日本小児科学会茨城地方会. 1998.6 (特別講演)

田中哲郎. 学校事故と養護教諭. 1998年度全国養護教諭研究大会. 大阪. 1998.7; 54-55 (シンポジウム)

田中哲郎. 小児事故の現状と対策. 第45回日本小児保健学会. 東京. 1998.9; 61 (プレコングレスシンポジウム)

田中哲郎. これからの母子保健事業の展開—乳幼児突然死症候群対策等を中心に—. 第24回新潟母性衛生学会. 新

潟, 1998.11; 8 (シンポジウム)

内山有子, 田中哲郎, 石井博子, 衛藤隆, 小林正子. 第12回日本小児救急医学会の心肺蘇生に関する考え方. 第12回日本小児救急医学会, 東京, 1998.6; 442

内山有子, 田中哲郎, 石井博子, 羽鳥文麿, 中川聡. 心肺蘇生実技講習会参加者へのアンケート調査. 第12回日本小児救急医学会, 東京, 1998.6, 小児科臨床, 1998; 52(3) 443

市川光太郎, 山田至康, 田中哲郎. 小児初期救急医療のアンケート調査. 第12回日本小児救急医学会, 東京, 1998.6, 小児科臨床, 1998; 52(3) 442

斎藤麗子, 小林祐子, 田中哲郎, 衛藤隆. 家庭内事故予防への配慮. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.9; 660-661

内山有子, 向井田紀子, 小林正子, 田中哲郎. 小児の上位死因における死亡率に関する検討—政令指定都市群と全国群の比較—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.9; 296-297

石井博子, 小林正子, 加藤則子, 田中哲郎. わが国における乳幼児事故の実態調査—第1報 全国病院における14612例の分析結果—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.9; 664-665

小林正子, 石井博子, 加藤則子, 田中哲郎. わが国における乳幼児事故の実態調査—第2報 年齢からみた事故内容—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.9; 666-667

田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 市川光太郎, 中川聡, 宮坂勝之. わが国における乳幼児突然死症候群の検討. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 459

石井博子, 田中哲郎. 不慮の事故の国際比較. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 748

小林正子, 石井博子, 向井田紀子, 加藤則子, 田中哲郎. 発達段階から見た乳幼児事故. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 507

田中哲郎, 加藤則子, 佐藤加代子, 井原成男, 尾崎米厚, 浅井雅之, 中村富枝. 乳幼児の家庭内事故予防に関する調査—「子ども事故予防センター」の活動効果について—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 508

内山有子, 向井田紀子, 小林正子, 逢坂文夫, 田中哲郎. 青年期女子のエイズに対する知識と態度について—女子学生における検討—. 第45回日本学校保健学会, 筑波, 1998.11; 324-325

向井田紀子, 内山有子, 小林正子, 田中哲郎, 小林至泰. 高校生のエイズについての知識および態度に関する母子保健的検討. 第45回日本学校保健学会, 筑波, 1998.11; 326-327

小林臻, 小林正子, 衛藤隆, 田中哲郎. 都市の女子高校生の性意識と性行動. 第45回日本学校保健学会, 筑波, 1998.11; 396-397

小林正子, 向井田紀子, 岡智康. 通学方法の違いが児童の身体発育および身体活動量に与える影響について—岩手県内小学校の調査より—. 第63回日本民族衛生学会, 松江,

1998.11; 134-135

小林正子, 平澤勝治. ローレル指数による戦後50年間の子どもの発育評価と体形指数に関する一考察. 第9回 Auxology (成長学) 研究会, 東京, 1998.11

小林正子, 衛藤隆. 児童の身体計測値からみた肥満とやせの動向および体重変動の特徴—東京都下小学校における1972~96年調査の解析から—. 第45回日本学校保健学会, 筑波, 1998.11; 466-467

吉橋和子, 福田良子, 石川房子, 成清マサキ, 伊藤憲美, 中村徳美, 伊藤順子, 加藤則子. 母乳栄養児の乳児期の身体発育に関する検討. 第13回日本母乳保育学会学術集会, 東京, 1998.9; 12

加藤則子, 福田良子, 石川房子, 成清マサキ, 伊藤憲美, 吉橋和子, 中村徳美, 伊藤順子. 母乳栄養児の身体発育に関する検討—乳児期の体重・身長・頭囲現量値を中心に—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.10; 188-189

加藤忠明, 高野陽, 宮原忍, 川井尚, 平山宗宏, 山口規容子, 佐藤紀子, 鍵孝恵, 加藤則子, 松浦賢長. 母児の健康状態と保育状況との関連. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.10; 594-595

西野幸恵, 飯田恭子, 加藤則子. 低出生体重児を育てる母親への支援について考える—育児不安からみる支援のあり方, 母親の求める育児支援とは—. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.10; 344-345

野原真理, 加藤則子. 地域における保育所の育児支援に果たす役割. 第45回日本小児保健学会, 東京, 1998.10; 84-85

加藤則子. 多胎児の性別組み合わせによる諸指標の動向の検討. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 460

加藤則子. 乳児期における発育研究の課題. 第9回 Auxology 研究会, 東京, 1998.11; 8

吉田匡史, 土岐岳子, 山口一郎, 大幡保夫, 大嶺悦子, 桜井博美, 高宮聖子, 谷出早由美, 丹野かほる, 辻よしみ, 野口雅美, 松尾美穂子, 重井真理子, 田中哲郎, 加藤則子, 岩永俊博, 畑栄一, 佐藤加代子, 鳩野洋子, 石井敏弘, 和田耕太郎, 鈴木浩子, 田中良明, 向山晴子, 鎌田明美, 飯塚俊子, 村上由香. グループワーク場面での住民の発言内容の変化とその要因. 第7回日本健康教育学会, 埼玉, 1998.6; 162-163

吉田匡史, 土岐岳子, 山口一郎, 大幡保夫, 大嶺悦子, 桜井博美, 高宮聖子, 谷出早由美, 丹野かほる, 辻よしみ, 野口雅美, 松尾美穂子, 重井真理子, 田中哲郎, 加藤則子, 佐藤加代子, 井原成男, 尾崎米厚, 浅井雅之, 中村富枝. 乳幼児の家庭内事故予防に関する調査—「子ども事故予防センター」の活動効果について—. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 508

澤口真規子, 太田たか子, 林宏一, 平井廣子, 野口和子, 田村須美子, 布川直子, 佐藤加代子. 地域母子保健における栄養士の役割(第1報). 第45回日本栄養改善学会, 福井, 1998.10; 120

太田たか子, 澤口真規子, 林宏一, 平井廣子, 野口和子,

田村須美子, 布川直子, 佐藤加代子. 地域母子保健における栄養士の役割(第2報). 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998.10; 120

林宏一, 澤口真規子, 太田たか子, 平井廣子, 野口和子, 田村須美子, 布川直子, 佐藤加代子. 地域母子保健における栄養士の役割(第3報). 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998.10; 121

山本紘子, 佐藤加代子, 布川直子, 高木節子. 地域母子保健における食生活支援に関する研究. 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998.10; 122

布川直子, 佐藤加代子, 梶本雅俊, 高野陽. 三歳児の食事の問題に影響を及ぼす要因について. 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998.10; 164

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畑鉄之丞. 保健所栄養士の卒後教育と職能訓練に関する研究. 第45回日本栄養改善学会, 福井. 1998.10; 173

大森世郁子, 八倉巻和子, 高石昌弘. 幼児期の食生活に関する問題意識—第2報幼児の年齢別にみた保護者調査結果の検討—. 第45回日本小児保健学会, 東京. 1998.10; 220-221

柿山哲治, 武川素子, 高石昌弘, 八倉巻和子, 大森世郁子. 中学校における食生活指導の実態—往復葉書による全国抽出調査結果より—. 第45回日本学校保健学会, 筑波. 1998.11; 268-269

学術報告書等

田中哲郎, 加藤則子. わが国における乳幼児突然死症候群における疫学—人口動態統計磁気テープ解析結果—. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998; 14-34

田中哲郎, 加藤則子, 土井徹, 他. 乳幼児突然死症候群の育児環境因子に関する研究—保健婦による聞き取り調査結果—. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998; 35-56

田中哲郎, 小林正子, 他. 乳幼児の突然死に関する全国調査—救急病院を基点とした—. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998.3; 57-66

田中哲郎, 小林正子. 乳幼児突然死症候群および疑い67症例の検討—病院調査結果—. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998;

67-75

田中哲郎, 他. わが国における乳幼児事故の実態調査—全国病院における14612例の分析—. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998; 76-82

田中哲郎, 他. 不慮の事故の国際比較. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998; 151-158

田中哲郎, 加藤則子, 他. 乳幼児突然死症候群(SIDS)の疫学調査ならびに家族のサポートのあり方についての研究. 厚生省心身障害研究「乳幼児死亡の防止に関する研究」平成9年度研究報告書, 1998; 179-182

加藤則子. 国際協力の評価法に関する文献的考察. 厚生省国際医療協力研究委託事業「環境と健康問題を中心とした国際医療協力のあり方に関する研究」(主任研究者: 林謙治) 平成9年度研究報告書, 1998; 25-31

加藤則子, 他. 小児慢性特定疾患登録時の自動的表示・解析内容. 厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録システムに関する研究」(主任研究者: 加藤忠明) 平成9年度報告書, 1998; 27-46

加藤則子. 小児事故防止先進国にみられる事故防止事業の事例. 厚生省心身障害研究「幼児死亡の防止に関する研究」(主任研究者: 田中哲郎) 平成9年度報告書. 1998; 145-150

加藤則子, 他. 周産期新生児領域の保健活動における人材に関する検討. 厚生省心身障害研究「市町村母子保健計画の評価に関する研究」(主任研究者: 北川定謙) 平成9年度報告書. 1998; 558-567

佐藤加代子, 他. 地域母子保健における栄養士の役割. 厚生省心身障害研究「我が国の小児保健医療体制の在り方に関する研究」班(主任研究者: 松尾宣武) 平成9年度研究報告書, 1998; 93-105

佐藤加代子, 他. 保育所幼児の通園時・非通園時の栄養摂取状況調査. 厚生省心身障害研究「子どもの健康と栄養に関する研究」班(主任研究者: 足立己幸) 平成9年度研究報告書, 1998; 89-93

須藤紀子, 梶本雅俊, 佐藤加代子, 福島富士子, 石井敏弘, 上畑鉄之丞. 保健所栄養士の卒後研修の現状に関する研究. 公衆衛生における卒後教育研修体系に関する研究 1997年度報告書, 1998.4; 117-136

Originals

Tanaka T, Uchiyama Y, Eto T, Sakata K, Shimizu M, Hyodo C. A study of the knowledge of AIDS and its prevention obtained by Thais women. 12th World AIDS Conference Proceeding. 1998; 335-339

Uchiyama Y, Tanaka T, Osaka F, Tsuboi W, Sakata K, Shimizu M. A study of the knowledge of AIDS and its prevntion obtained by women in Japan and in

Thailand. 12th World AIDS Conference Proceeding. 1998; 335-339

Proceedings with abstracts

Tanaka T, Uchiyama Y, Tanaka A. Regional differences in childhood accidents in Japan-Comparison between large cities and other districts. 4th World Injury Prevenstion and Control Conference. Amsterdam. May 1998; 718

Ishi H, Tanaka T, Kato N, Uchiyama Y, Osaka F, Ikemi Y, Kobayashi I, Eto T, Kuno T, Ito H. **Incidence of childhood injuries in Japan.** 4th World Injury Prevention and Control Conference. Amsterdam. May 1998; 718.

Tanaka T, Ishii H. **International comparison of accidental deaths.** 4th World Injury Prevention and Control Conference. Amsterdam. May 1998; 717

Shimizu M, Umeda M, Tanaka T. **Yearly changes of the incidence of childhood injuries in Japan.** 4th World Injury Prevention and Control Conference. Amsterdam. May 1998; 718.

Uchiyama Y, Tanaka T, Osaka F, Tsuboi M, Kobayashi I, Sakata K, Shimizu M. **Comparison of**

knowledge on maternal-child HIV infection and its prevention among women in Japan and Northern Thailand. 12th World AIDS Conference. Geneva. Jul. 1998; 405.

Tanaka T, Uchiyama Y, Eto T, Sakata K, Shimizu M, Hyodo C. **Knowledge on maternal-child HIV infection among women in Northern Thailand.** 12th World AIDS Conference. Geneva. Jul. 1998; 1141

Kato N. **Perinatal mortality of twins in recent Japan.** The 2nd Asian-Pacific Congress of Epidemiology jointly with the 8th Scientific Meeting of Japan Epidemiological Association. Tokyo. *J Epidemiology*. 1998; 8(1)Suppl; 59

労働衛生学部 Department of Industrial Health

原 著

内山巖雄. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）と生体への影響. 生活衛生. 1998; 42(6): 219-227

本田靖, 内山巖雄. 地球温暖化の健康への影響—生活環境と健康—. 地球環境1998; 2(2): 127-135

興水ヒカル, 栃原裕, 池田耕一, 岩田利枝, 市川勇, 石井亨子, 徐慎之, 松井清彦, 倉下美和子, 梶尾厚子, 岡田幸枝, 知念照子, 稲垣恵子, 植竹真弓, 豊岡由賀, 下田美穂, 田中あゆみ. 都市部高齢者住居の室内環境因子に関する実態測定調査. 人間と生活環境. 1998; 5: 132-138

高橋美加, 栃原裕, 永井由美子, 興水ヒカル, 池田耕一, 岩田利枝, 市川勇. 放射冷房システムを用いたオフィスの温熱環境評価（第1報）試験的オフィス例. 人間と生活環境. 1998; 6: 40-45

近藤雅雄, 木島聡, 市川勇, 大門真, 堀江裕. 慢性砒素被爆経験者のポルフィリン代謝異常. ポルフィリン. 1998; 7: 51-57

熊江隆, 栗井崇紀. 口腔内好中球の分離法及び活性酸素種産生能の検討. 体力・栄養免疫学雑誌. 1998; 8(1): 87-93

荒川はつ子, 熊江隆. Brown-Norway ラットの臓器重量および気管支肺胞洗浄液中の細胞におよぼす加齢の影響. 体力・栄養免疫学雑誌. 1998; 8(1): 78-86

倉掛重精, 岡村典慶, 三浦照幸, 梅田孝, 熊江隆, 大下喜子, 中路重之, 菅原和夫. 暑熱環境下における高校野球選手, 監督, 審判員および応援者の生体負担. 体力・栄養免疫学雑誌. 1998; 8(1): 23-35

総 説

内山巖雄. 光化学スモッグ注意報の有用性をめぐって. 総合臨床. 1998; 47(12): 3072-3073

内山巖雄. 有害大気汚染物質のリスクアセスメントと今後の動向. 環境と測定技術. 1998; 25(7): 69-79

内山巖雄. ゴミ焼却とダイオキシン. 公衆衛生. 1998; 62(7): 468-472

田中勝, 内山巖雄. 研究懇話会報告 ダイオキシン汚染問題. 公衆衛生研究. 1998; 47(2): 138-147

抄録のある学会報告

田子博, 大谷仁己, 山口貴史, 大村雅崇, 小島大輔, 渡辺征夫, 内山巖雄. 群馬県における揮発性有機化合物の分布について (I) —調査概要と活性炭捕集試料の GC/MS 測定—. 第39回大気環境学会年会, 1998; 496

渡辺征夫, 大村雅崇, 小島大輔, 田子博, 大谷仁己, 村山留美子, 内山巖雄. 群馬県における揮発性有機化合物の分布について (II) —GC/[PID・FID・ELCD] 方式の連続分析装置による測定—. 第39回大気環境学会年会, 1998; 497

内山巖雄, 佐々木昭彦. R-R 間隔変動のスペクトル解析と生活温度: バンコクの生活行動 (1). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 750

市川勇, 斎藤和夫, 近藤雅雄. 塩化セリウム経口投与マウスの消化器官における活性酸素発生と酸化還元系成分の変動. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡. 1998.4; 456

落合香織, 亀山正明, 永井洋子, 杉本元信, 角野泰清, 磯貝床, 近藤雅雄, 市川勇. 晩発性皮膚ポルフィリン症の発症に関するフェニントインの影響について. The 4th International Porphyrin-Heme Symposium, Yonago. 1998.10; 96

近藤雅雄, 市川勇. 砒素投与マウスの肝, 腎, 脾および末梢赤血球中のポルフィリン代謝について. The 4th International Porphyrin-Heme Symposium, Yonago. 1998.10; 108

山田正人, 井上雄三, 大迫政浩, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物処理・処分システムのリスク管理における遺伝子毒性試験の適用. 第9回廃棄物

学会研究発表会, 大阪. 1998.10; (II)1029-1031

市川勇, 田中勝, 井上雄三, 山田正人, 今岡浩一, 大村実, 田中昭代. 都市ゴミ焼却灰の長期間摂取による雄ラットの体重, 臓器重量およびIgE抗体産生に対する影響. 第9回廃棄物学会研究発表会, 大阪. 1998.10; (I)423-425

山田正人, 井上雄三, 大迫政浩, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物分野におけるバイオアッセイ手法の適用について 第2報: 各種変異原性試験法の適用性の検討. 第6回北海道大学衛生工学シンポジウム, 札幌. 1998.11

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. 廃棄物ライフサイクルにおける有害化学物質のリスク評価手法の開発(2). 日本環境変異学会第27回大会プログラム, 大阪. 1998.12; 155

荒川はつ子, 熊江隆, 村山留美子, 内山巖雄. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第1報 幼若期よりNO₂曝露されたBrown-NorwayラットとFisherラットの肺胞中細胞数の比較. 第39回大気環境学会, 北海道. 1998; 278

熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 内山巖雄. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第2報 幼若期よりNO₂曝露されたBrown-NorwayラットとFisherラットの肺胞マクロファージ活性の比較. 第39回大気環境学会, 北海道. 1998; 279

荒川はつ子, 熊江隆, 村山留美子, 内山巖雄. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第3報 Brown-Norwayラットにおける鼻腔抵抗の測定. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 731

熊江隆, 荒川はつ子, 村山留美子, 内山巖雄. アレルギー性疾患が実験小動物の呼吸器に及ぼす影響. 第4報 胎児期あるいは幼若期からのNO₂曝露がFisherラットに及ぼす影響の比較. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10; 731

荒川はつ子, 熊江隆, 村山留美子, 内山巖雄. 実験小動物の鼻腔抵抗測定法の検討. 体力・栄養免疫学会総会, 1998; 4

熊江隆. オゾンが生体に及ぼす影響. 第16回オゾン技術に関する講習会, 東京. 1998.10; 81-85

熊江隆, 荒川はつ子. 加齢によるアレルギーモデルラットの肺胞マクロファージ活性の変化. 第68回日本衛生学会, 1998; 256

熊江隆. ラットの肺における細胞内抗酸化機構と活性酸素産出に及ぼす睡眠妨害と強制運動の影響. 日本衛生学会ワークショップ, 1998; 7

荒川はつ子, 熊江隆. 高齢ラットの非特異免疫能に及ぼ

すストレスの影響. 第1報 Brown-Norwayラットの臓器重量及び気管支肺胞洗浄液中細胞に及ぼす加齢の影響. 第53回日本体力医学会大会, 横浜. 1998; 811

熊江隆, 荒川はつ子. 高齢ラットの非特異免疫能に及ぼすストレスの影響. 第2報 Brown-Norwayラットの肺胞マクロファージからの活性酸素種産生に及ぼす加齢の影響. 第53回日本体力医学会大会, 横浜. 1998; 812

鈴川一宏, 熊江隆, 伊藤孝. 長距離走トレーニングが生体内活性酸素バランスに及ぼす影響 第1報 駅伝選手における運動量および自覚症状の検討. 第68回日本衛生学会, 1998; 155

鈴川一宏, 熊江隆, 山崎享子, 木村直人, 伊藤孝, 中野昭一. 長距離走トレーニングが生体内活性酸素バランスに及ぼす影響. 第2報 血清過酸化脂質の変化. 第53回日本体力医学会大会, 1998; 271

栗井崇紀, 中野智以子, 熊江隆. 持久的トレーニングによる上部気道感染症の発症防御に関する研究. 第1報. 健康者における末梢血中及び口腔内好中球の活性酸素種産生能の比較. 体力・栄養免疫学会総会, 1998; 4

栗井崇紀, 中野智以子, 熊江隆. 口腔内好中球の活性酸素種産生能の検討. 第68回日本衛生学会総会, 1998; 157

栗井崇紀, 中野智以子, 熊江隆. 持久的トレーニングによる上部気道感染症の発症防御に関する研究. 第1報. ジュニアの競泳選手における好中球機能の変動. 第53回日本体力医学会大会, 1998; 177

学術報告書等

内山巖雄. 生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質曝露アセスメントに関する研究. 環境保全研究成果報告書, 1998; 14-1-14-17

内山巖雄. 公衆衛生学的立場からみた化学物質過敏症について. 化学物質のクライシスマネジメントに関する研究—ケーススタディ: 化学物質過敏症の研究・調査—. 平成9年度厚生科学研究健康地球計画推進研究事業報告書, 1998

内山巖雄. 地球温暖化によるアジア太平洋地域社会集団に対する影響と適応に関する研究(3). 社会集団の健康事象に及ぼす気候変動の影響—アジア太平洋地域のライフスタイル研究—. 環境庁地球環境総合推進費平成8年度研究成果報告集(中間報告I), 1998; 308-312

内山巖雄, 後藤純雄, 他. 重油含有物質の人体曝露量測定及びその影響評価に関する研究. 重油流失事故に伴う健康影響調査ならびに重油含有物質による人体影響及び危急時における健康管理体制に関する研究. 福井県受託研究報告書ならびに厚生科学研究報告書, 1997

phyrins. 1998; 7: 452-456

Honda Y, Ono M, Sasaki A, Uchiyama I. Shift of the short-term temperature-mortality relationship by a climate factor—some evidence necessary to take account of in estimating the health effect of global

Originals

Kondo M, Aiba N, Li Hui, Ichikawa I. Changes in porphyrin metabolism in the liver and spleen following a single oral dose of disodium arsenate in mice. *Por-*

worming. *J Risk Research*, 1998; 1 Issue 3

Kumae T, Kurakake S, Arakawa H, Uchiyama I. A study for prevention of chronic fatigue. Part 2. Effects of strenuous physical exercise performed in a training camp on serum enzyme activity levels and subjective fatigue. *Environ Health Prevent. Med.*, 1998; 3(2): 89-95

Proceedings with abstracts

Ichikawa I. Porphyrins producing radicals and their application. The 4th International Porphyrin-Heme Symposium, Yonago. 1998.10; 73

Murayama R, Uchiyama I, Hirose H, Huwa H, Nakaune N, Ishizuka T, Tsuchida S. Empirical Study on Perceived Environmental Risks of the Tokyo Metropolitan Residents. (4). 日中リスク北京学会, 北京, 1998.11

1998.11

Nakaune N, Ishizuka T, Hirose H, Tsuchida S, Uchiyama I, Murayama R, Huwa H. Empirical Study on Perceived Environmental Risks of the Tokyo Metropolitan Residents. (5). 日中リスク北京学会, 北京, 1998.11

Hirose H, Huwa H, Ishizuka T, Nakaune N, Tsuchida S, Uchiyama I, Murayama R. Empirical Study on Perceived Environmental Risks of the Tokyo Metropolitan Residents. (6). 日中リスク北京学会, 北京, 1998.11

Kumae T. A Study for reactive oxygen species productions from neutrophils in Mouth. 10th International Symposium on Bioluminescence and Chemiluminescence. Bologna, Italy. *J Biolumin Chemilumin.* 1998; 13(4): 225

衛生薬学部

Department of Pharmaceutical Sciences

総説

宮澤宏, 花岡文雄. 複製関連因子の転写制御一哺乳類細胞. 実験医学. 1998; 16(8): 953-959

著書

森川馨, 浦山由巳, 紀井良明, 佐野昭光, 齋藤泉, 西畑利明, 今井昭生, 三川正明, 中尾明夫, 他. 日本 PDA 技術教育委員会. 治験薬 GMP 研究報告. 日本 PDA, 1998

宮澤宏, 花岡文雄. DNA の構造, RNA の構造ほか. 村松正實編. 図解生物科学講座 5. 分子生物学. 朝倉書店, 1998: 2-17

抄録のある学会報告

磯崎恵美, 黒瀬光一, 福原守雄, 武田健. チャイニーズハムスター CYP2A 分子種のフェノバルビタールによる誘導機構の解析. 第71回日本生化学会大会, 名古屋. 1998.9

福原守雄, Bani M, 頭金正博, 黒瀬光一, Islam M. ハムスター肝臓における CYP3A31 の誘導機構の解析. 第13回薬物動態学会年会, 仙台. 1998.11

松永典子, 服部研之, 中島恵美, 福原守雄. 薬物キネティクス解析による CYP 量の定量. 第13回薬物動態学会年会, 仙台. 1998.11

森川馨. 予測的バリデーションにおける医薬品の品質評価とデータ解析. 日本薬学会第118年会, 京都. 1998.4

只木晋一, 野坂富雄, 田中彰男, 森川馨. 地方行政検査

機関におけるプロセス・バリデーションへの取り組み. 日本薬学会第118年会, 京都. 1998.4

水野武, 山岸久美子, 宮澤宏, 花岡文雄. Internal ribosome entry site を用いた cDNA 発現系によるマウス DNA ポリメラーゼ α /プライマーゼ複合体の4つのサブユニットの分子構築. 第21回日本分子生物学会年会, 横浜. 1998.12: 356

西川直子, 泉雅子, 横井雅幸, 宮澤宏, 花岡文雄. マウス DNA ポリメラーゼ α 54-kDa サブユニット遺伝子プロモーターの解析. 第21回分子生物学会年会, 横浜. 1998.12: 357

王瑞生, 宮澤宏, 花岡文雄. マウス DNA ポリメラーゼ ϵ の機能解析. 第21回日本分子生物学会年会, 横浜. 1998.12: 357

宮澤宏, 王瑞生, 花岡文雄. マウス DNA ポリメラーゼ ϵ サブユニットの核移行メカニズムの解析. 第21回日本分子生物学会年会, 横浜. 1998.12: 357

学術報告書等

森川馨, 他. 白血球機能を調節する糖鎖利用による新規医薬品の開発. (主任研究者: 森川馨)平成9年度ヒューマンサイエンス基礎研究事業, 第2分野ニューテクノロジーとしての糖鎖工学の確立と医療・医薬分野への応用, 1998: 66-80

Originals

Yoshida T, Andoh K, Fukuhara M. Estimation of absorption of environmental contaminants in low-

level exposure by pharmacokinetic analysis. *J Toxicol Environ Health.* 1998; 54: 145-158

Fukuhara M, Kurose K, Aiba N, Matsunaga N, Omata W, Kato K, Kimura M. A major phenobarbital-

inducible P450 isozyme, CYP2A14 in the Chinese hamster liver: Purification, characterization and cDNA cloning. *Arch Biochem Biophys*. 1998; 359(2): 241-248

Mizuno T, Itoh N, Yokoi M, Kobayashi A, Tamai K, Miyazawa H, Hanaoka F. The second-largest subunit of the mouse DNA polymerase α -primase complex facilitates both production and nuclear translocation of the catalytic subunit of the DNA polymerase α . *Mol Cell Biol*. 1998; 18: 3552-3562

Kurose K, Tohkin M, Ushio F, Fukuhara M. Cloning and characterization of Syrian hamster testosterone 1 α -hydroxylase, CYP2A9. *Arch Biochem Biophys*. 1998;

351: 60-65

Alabouch S, Kurose K, Tohkin M, Bani MH, Fukuhara M, Nagata K, Yamazoe Y. cDNA cloning and expression of a novel CYP3A from the Syrian hamster, CYP3A31. *Biochim Biophys Acta*. 1998; 1397: 9-13

Proceeding with abstract

Mizuno T, Miyazawa H, Hanaoka F. Characterization of the four subunits of mouse DNA polymerase α -primase complex. Third Congress of Asian-Pacific Organization for Cell Biology. Osaka. Aug. 1998; 101

衛生獣医学部 Department of Veterinary Public Health

原 著

山本茂貴. 公衆衛生分野における経済疫学の現状と将来. 獣医学雑誌. 1998; 2(1): 19-21

山本茂貴, 石渡正樹. 横浜市におけるサルモネラ食中毒による経済損失に関する研究. 獣医学雑誌. 1998; 2(2): 51-62

山本茂貴. 食品のリスクアナリシス. 食品衛生研究. 1998; 48(5): 67-70

山本茂貴. コーデックスにおける食品衛生管理の国際整合性. フードケミカル. 1998; 14(4): 26-29

山本茂貴, 森岡豊. と畜場における廃棄並びに汚染食肉の流通による経済損失に関する疫学的研究. 食肉に関する助成研究. 1998; 16: 376-378

長岡宏美, 杉枝正明, 秋山真人, 仁科徳啓, 赤羽荘資, 山本茂貴. 静岡県における犬及び猫の *Coxiella burnetii* 感染症の疫学. 日本獣医師会雑誌. 1998; 51(6): 323-325

藤原真一郎. HACCP システムの適用について. 空気清浄. 1998; 35(5): 26-35

松岡隆介. HACCP システムの検証の重要性 (1) 一検証の総論一. 食品衛生研究. 1998; 48(5): 41-55

松岡隆介. HACCP システムの検証の重要性 (2) 一内部検証の概要一. 食品衛生研究. 1998; 48(6): 69-97

松岡隆介. HACCP システムの検証の重要性 (3) 一行政等が行う外部検証 (Pre-requisite Program に関する Audit). 食品衛生研究. 1998; 48(8): 23-60

松岡隆介. HACCP システムの検証の重要性 (4) 一行政等が行う外部検証 (HACCP システムの Audit と記録の偽証の検出). 食品衛生研究. 1998; 48(10): 7-36

総 説

山崎省二. 実験動物アレルギー対策と評価. 空気清浄. 1998; 36(1): 28-32

山崎省二. 環境の微生物測定法と問題点. エアロゾル研究. 1998; 13(1): 13-19

著 書

山本茂貴. バイオフィルムの検査法, 森崎久雄, 大島宏行, 磯部賢治編: バイオフィルム—その生成メカニズムと防止のサイエンス—. 1998; 223-226

藤原真一郎. 製造環境整備のための一般的衛生管理プログラム (分担執筆), 小沼博隆他編: HACCP 管理実用マニュアル. サイエンスフォーラム, 東京. 1998; 224-237

後藤純雄, 町井研士. 化学汚染物質の基準の現状と動向, 渡辺悦生, 森國光, 大熊廣一, 後藤良三編: HACCP 対応食品危害分析・モニタリングシステム. サイエンスフォーラム, 東京. 1998; 325-333

抄録のある学会報告

山崎省二. と畜場における電解機能水の利用. 第5回機能水シンポジウム, 横浜. 1998; 77-78 (教育講演)

尾池洋美, 松岡隆介, 大塚佑子, 山崎省二, 田代靖人, 田村善蔵. 無菌マウスの腸管出血性大腸菌 O157 感染に及ぼすピフィズスとフラクトオリゴ糖の影響. 第2回腸内細菌学会, 東京. 1998; 39

松岡隆介, 尾池洋美, 難波恭子, 町井研士, 山崎省二. 無菌マウスの腸管出血性大腸菌 O157 感染に及ぼすピフィズスの影響. 第126回日本獣医学会, 北海道. 1998.8; 45

大廻和彦, 竹内明, 大塚佑子, 松岡隆介, 山崎省二. 空調ダクト内粉じん中の微生物量. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1998; 379-380

磯前和郎, 五箇所幹子, 松岡隆介, 大塚佑子, 山崎省二, 川本卓男, 田中渥夫. 酵素を固定化した殺菌エアフィルタの開発. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1998; 399-402

山崎省二, 松岡隆介, 大塚佑子, 鈴木英友, 藤井敏昭. UV/光電子法を用いた食品ショウケース中の生物・非生物粒子の除去. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 東京. 1998; 407-412

今岡浩一, 木村昌伸, 山崎省二. 経胎盤感染によるアレ

ルゲン特異的 IgE の新生仔への産生誘導. 日本免疫学会総会・学術集会, 神戸, 1998; 記録28: 142

長岡宏美, 佐原啓二, 杉枝正明, 山本茂貴. 家畜盲腸内容物及び糞便からの Q 熱病原体遺伝子の検出. 第126回日本獣医学会, 北海道, 1998.8; 122

藤原真一郎. 電解水を用いたと畜の生体洗浄効果. 第5回機能水シンポジウム'98 横浜大会一, 横浜, 1998.11; 42-43

久和茂, 河村清次, 田川陽一, 町井研士, 柴田進和, 土井邦雄, 吉川泰弘, 岩倉洋一郎. マウスコロナウイルスに対する IFN- γ 欠損マウスの感受性のマウス系統差. 第126回日本獣医学会, 北海道, 1998.8; 60

学術報告書等

山本茂貴. 微生物危害のリスクアセスメントに関する研究. 動物性食品等の高度衛生管理に関する研究(分担研究). 平成9年度食品衛生調査研究事業報告書, 1998

山本茂貴. Q 熱のリスクアナリシスに関する研究. 動物性食品等の高度衛生管理に関する研究(分担研究). 平成9年度厚生科学研究食品衛生調査研究事業報告書, 1998

山本茂貴. と畜場における廃棄並びに汚染食肉の流通による経済損失に関する疫学的研究(分担研究). 平成9年度

厚生科学研究特別研究事業報告書, 1998

山本茂貴. 食中毒等による経済損失の評価に関する経済疫学的研究(分担研究). 平成9年度厚生科学研究特別研究事業報告書, 1998

山本茂貴. *Mycobacterium avium* complex 経口感染 BALB/c マウスの腸管上皮内リンパ球の解析. 平成9年度日米医学研究協力ハンセン病・結核部会研究報告書, 1998

松岡隆介. HACCP システムの現状とその将来(1)―食品安全のための HACCP 国際会議に出席して―会議の概要. 月刊 HACCP, 1998; 36(9): 81-85

松岡隆介. HACCP システムの現状とその将来(2)―食品安全のための HACCP 国際会議に出席して―HACCP システムとその将来. 月刊 HACCP, 1998; 37(10): 35-39

松岡隆介. HACCP システムの現状とその将来(3)―食品安全のための HACCP 国際会議に出席して―HACCP のトレーニング, 教育とそのツール. 月刊 HACCP, 1998; 38(11): 50-61

松岡隆介. HACCP システムの現状とその将来(4)―食品安全のための HACCP 国際会議に出席して―将来の食品衛生, 内部検証に関するワークショップ. 月刊 HACCP, 1998; 39(12): 90-97

Originals

Shin K, Yamauchi K, Teraguchi S, Hayasawa H, Tomita M, Otsuka Y, Yamazaki S. Antibacterial activity of bovine lactoferrin and its peptides enterohaemorrhagic *Escherichia coli* O157: H7. *Letters in Applied Microbiology*. 1998; 26: 407-411

Kyuwa S, Tagawa Y, Shibata S, Doi K, Machii K, Iwakura Y. Murine coronavirus-induced subacute fatal peritonitis in C57BL/6 mice deficient in gamma interferon. *J Virol*. 1998; 72: 9286-9290

Makino S, Ishizaki H, Shirahata T, Fujiwara S, Sawada T. Isolation of Acriflavine Resistant *Erysipelothrix rhusiopathiae* from slaughter pigs in Japan. (NOTE) *J Vet Med Sci*. 1998; 60(9): 1017-1019

Proceedings with abstracts

Fujiwara S, Matsuoka R. HACCP pilot study for

catering facilities and current status of training for regulatory food inspectors in Japan. Second International Food Safety & HACCP Conference. Noordwijk aan Zee, the Netherlands. Jun. 1998; 60

Yamamoto S, Nagaoka H. Q fever in Japan 33rd Joint Panel on Toxic Microorganisms, United States-Japan Cooperative Program on Development and Utilization of Natural Resources. Nov. 1998; 18

Okada Y, Makino S, Yamazaki S. The effect of NaCl on *Listeria monocytogenes*. The 8th International Symposium on problem of Listeriosis. Halifax, Canada. 1998; 28

Isomae K, Gokao M, Matuoka R, Yamazaki S, Kawamoto T, Tanaka A. Development of bactericidal air filter with immobilized enzymes. The ICCCS 14th International Symposium on Contamination Control. Phoenix, Arizona. 1998; 233-238

放射線衛生学部

Department of Radiological Health

原 著

茂木美砂子, 三宅定明, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗. ミツバ(葉茎部)による水耕培養液からの¹³⁷Csの取込みについて. *Radioisotopes*. 1998; 47: 824-829

総 説

杉山英男. キノコによるセシウムの高濃縮性. *Radioisotopes*. 1998; 47: 669-671

著 書

杉山英男, 放射性汚染物, 厚生省生活衛生局食品保健課／乳肉衛生課／食品化学課監修, 食中毒予防必携(分担執筆), 日本食品衛生協会, 1998; 228-233

抄録のある学会報告

寺田宙, 杉山英男, 松下和弘, 仁科正実, 工藤香織, 長末和子, 加藤文男, きのこ(ヒラタケ)によるCsの特異的取込, 日本薬学会第118年会, 京都, 1998.4

寺田宙, 杉山英男, 松下和弘, 仁科正実, 加藤文男, キノコによるセシウムの取り込み特性に関する研究, 第35回全国衛生化学技術協議会年会, 高知, 1998.10

寺田宙, 加藤文男, 松下和弘, 仁科正実, 杉山英男, キノコ(ヒラタケ)中のセシウムの存在状態に関する研究, 日本放射線影響学会第41回大会, 長崎, 1998.12

磯村公郎, 杉山英男, 花崗岩地域を主とする河川水および飲料水ウラン濃度分布, 日本放射線影響学会第41回大会, 長崎, 1998.12

三宅定明, 茂木美砂子, 大沢尚, 中澤清明, 出雲義朗, 県内1河川の各種試料中における⁹⁰Srの放射能, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

橋本和子, 平井保夫, 出雲義朗, 茨城県沿岸海洋環境試料の人工放射性主要核種濃度の推移, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗, In Vitro でX線を照射したマウスの脾細胞および骨髓細胞におけるコバルト元素のとりこみについて, 日本放射線影響学会第41回大会, 長崎, 1998.12

山口一郎, 緒方裕光, 出雲義朗, 国立公衆衛生院医療放

射線監視(研修)コースについて, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

吉田匡史, 土岐岳子, 山口一郎, 大幡保夫, 大嶺悦子, 桜井博美, 高宮聖子, 谷出早由美, 丹野かほる, 辻よしみ, 野口雅美, 松尾美穂子, 重井真理子, 田中哲郎, 加藤則子, 佐藤加代子, 井原成男, 尾崎米厚, 浅井雅之, 中村富枝, 乳幼児の家庭内事故予防に関する調査—「子ども事故予防センター」の活動効果について—, 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10

学術報告書等

杉山英男, 寺田宙, 出雲義朗, 海産食品ならびに輸入食品の放射能調査, 第40回環境放射能調査研究成果論文抄録集, 科学技術庁, 1998; 補遺

緒方裕光, 山口一郎, 出雲義朗, 必須元素の代謝を指標とする放射線の影響評価法の開発と防護に関する研究, 平成9年度国立機関原子力試験研究成果報告書(第38集), 1998; 100: 1-4

緒方裕光, フランスにおけるラドン吸入曝露実験研究, ラドンの人体への影響評価専門研究会報告書, 1998; 119-124

山口一郎, 他, 保健所の情報ネットワークのあり方に関する研究, (研究代表者: 鈴木重任)平成9年度厚生科学特別研究事業 地域における保健医療福祉の連携を支援するための保健情報ネットワークの構築とその効率的運用に関する研究総括研究報告書・分担研究報告書, 1998: 17-24

山口一郎, 他, 東京都北多摩南部保健医療圏における結核予防対策の分析～予防可能例検討と治療成績評価の取り組みから～, 平成9年度医科大学の保健所に関する技術協力事業, 東京都衛生局, 1998

Originals

Sugiyama H, Kato F, Sanekata T, Terada H, Morita Y, Wada M. Growth and ¹³⁷Cs accumulation by mushroom (*Pleurotus ostreatus*) mycelia and elementary analysis with scanning electron microscope—X-ray microanalyzer. *Bioimages*. 1998; 3-4: 109-113

Terada H, Shibata H, Kato F, Sugiyama H. Influence of alkali elements on the accumulation of radiocesium by mushrooms. *J Radioanal Nucl Chem*. 1998; 235: 195

-200

Kuwahara C, Watanuki T, Matsushita K, Nishina M, Sugiyama H. Studies on uptake of cesium by mycelia of the mushroom (*Pleurotus ostreatus*) by ¹³⁷Cs-NMR. *J Radioanal Nucl Chem*. 1998; 235: 191-194

Tsukada H, Shibata H, Sugiyama H. Transfer of radiocaesium and stable caesium from substrata to mushrooms in a pine forest in Rokkasho-mura, Aomori, Japan. *J Environ Radioactivity*. 1998; 39: 149-160

地域環境衛生学部

Department of Community Environmental Science

原 著

森康明, 長谷川一夫, 宇都宮暁子, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫, 松下秀鶴, ビレスロイド系殺虫剤およびその共力剤(1,1'-オキシビス[2,3,3,3-テトラクロロプロパン])のAmes変異原性, 環境変異原研究, 1998; 20: 29-33

小谷野道子, 遠藤治, 後藤純雄, 田辺潔, Koottatep S, 松下秀鶴, チェンマイにおける大気中の発癌性多環芳香族, 炭化水素濃度: 東京との比較, 衛生化学, 1998; 44(3): 214-225

遠藤治, 小谷野道子, 森康明, 後藤純雄, 尿試料の変異原性に及ぼす保存条件の影響, 衛生化学, 1998; 44(5):

378-385

河合昭宏, 田中恵子, 森康明, 後藤純雄. 空气中ガス状成分の変異原性測定法の検討. 自動車研究, 1998; 20: 9: 420-422

林哲仁, 任恵峰, 田口誠治, 後藤純雄, 遠藤英明, 渡辺悦生. 酸化水分解エキスの変異原性. 食品衛生学雑誌, 1998; 39(2): 67-71

大久保忠利, 遠藤治, 後藤純雄, 峯木茂, 渡辺悦生, 林哲仁. マイクロサスペンション法のブレインキューベーション条件の検討. 環境化学, 1998; 8(4): 841-846

後藤純雄, 杉田和俊, 小谷野道子, 遠藤治, 内山巖雄, 前田恒昭, 矢島博文, 石井忠浩. 室内空気浮遊粒子中のPAH測定へのPAS-2000の適用. 室内環境学会誌, 1998; 1(1): 51-55

渡辺征夫, 竹澤一郎, 田子博. 気相式電気伝導度検出器を用いる揮発性塩素化炭化水素の定量. 分析化学, 1998; 47: 63-68

石川百合子, 大野卓也, 大山準一, 小川完, 原宏. 綾里における1976~1994年の降水の酸性化. 天気, 1998; 45: 351-360

国井修, 金川修造, 矢島巖, 久松由東. インドネシア森林火災における国際緊急援助隊(JDR)医療専門家チームの役割. 日本集団災害医療研究会誌, 1998; 3: 68-74

総 説

後藤純雄. 特集一有害大気汚染物質を巡る動向と今後の展望, 環境空気の変異原性の測定. 環境と測定技術, 1998; 25(5): 30-43

原宏. pH測定のとし穴. SCIA S. (朝日新聞社) 1998; 5月1日号: 68-69

原宏. 世界のモニタリングネットワークの現状と将来展望. かんきょう, 1998; 1998年5月号: 18-20

久松由東. 大気環境中における変異(癌)原物質の生成とその変異原性. 大気環境学会誌, 1998; 33(2): A77-84

久松由東. 3-ニトロベンツアントロン. 高圧ガス, 1998; 35(11): 55

著 書

渡辺征夫. 指標物質とその連続モニタリング法. 平山直道(監修). ダイオキシン類の対策技術—生成抑制技術と除去・分解・分析技術. シーエムシー, 東京, 1998; 354-376

渡辺征夫(分担執筆). 日本分析化学会ガスクロマトグラフィ—研究懇談会訳: CGCにおける試料導入技術ガイドブック [K. Grob. Einspritztechniken in der Kapillar-Gaschromatographie, Huthig Verlag (Heidelberg), 1995]. 丸善, 1998

後藤純雄, 町井研士(分担執筆). 化学汚染物質の基準の現状と動向. HACCP対応—食品危害分析・モニタリングシステム. サイエンスフォーラム, 東京, 1998.4; 325-333

抄録のある学会報告

松下秀鶴, 後藤純雄, 根津豊彦, 松村年郎, 松本寛. 生活環境空气中的粒子状物質等のキャラクタリゼーションと汚染実態の把握に関する研究. 大気汚染による健康影響に関する総合的研究 第9回研究懇談会, 公害健康被害補償予防協会, 東京, 1998.5; 91-96

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 後藤純雄, 渡辺征夫, 川本俊弘, 松野康二, 永倉俊和, 小幡徹. 生物学的曝露マーカーをもちいた汚染物質の曝露量把握に関する研究. 大気汚染による健康影響に関する総合的研究 第9回研究懇談会, 公害健康被害補償予防協会, 東京, 1998.5; 113-116

塩崎卓哉, 大山雅義, 杉田和俊, 後藤純雄, 遠藤治, 若林敬二. タバコ煙中のダイオキシン類. 第7回環境化学討論会, 京都, 1998.6; 116-117

杉田和俊, 浅田正三, 岡澤剛, 後藤純雄, 遠藤治, 森田昌敏. 粒子状物質中のダイオキシン類. 第7回環境化学討論会, 京都, 1998.6; 126-127

岸野令, 稲葉洋平, 杉田和俊, 後藤純雄, 峰木茂, 高木敬彦, 太田敏博, 山形秀夫. 東京都の土砂試料の変異原性及びPAH濃度の測定. 第7回環境化学討論会, 京都, 1998.6; 178-179

村上陽一郎, 杉田和俊, 後藤純雄, 遠藤治, 高木敬彦, 光崎研一. 生体試料中の多環芳香族炭化水素(PAH)類の測定. 第7回環境化学討論会, 京都, 1998.6; 180-181

安藤福久枝, 小林孝子, 加藤幸彦, 大久保忠利, 林哲仁, 高木敬彦, 遠藤治, 後藤純雄. マイクロサスペンション法のブレインキューベーション条件の検討. 第27回日本環境変異原学会, 大阪, 1998.11; 84

白石不二雄, 白石寛明, 山本貴士, 笹井春雄, 川又秀一, 佐藤文子, 後藤純雄, 安原昭夫. 発光細菌遺伝毒性試験法を用いた廃棄物埋立地浸出水の遺伝毒性モニタリング手法の検討. 第27回日本環境変異原学会, 大阪, 1998.11; 87

後藤純雄, 遠藤治, 松本寛, 麻野間正晴, 平山晃久, 渡辺徹志, 世良暢之, 若林敬二. 日本各地における大気浮遊粉塵, 河川水および土砂試料の変異原性. 第27回日本環境変異原学会, 大阪, 1998.11; 151

小松一, 大山雅義, 杉田和俊, 後藤純雄, 遠藤治, 塩崎卓哉, 杉村隆, 若林敬二. タバコ煙中のダイオキシン類の定量. 第27回日本環境変異原学会, 大阪, 1998.11; 153

森康明, 節田節子, 後藤純雄, 小野寺祐夫. 室内環境における有機汚染化合物の軽減化に対する検討(1) 空気清浄機による揮発性有機化合物の削減効果について. 第1回室内環境学会総会, 東京, 1998.12; 1(2): 79-80

河合昭宏, 田中恵子, 森康明, 後藤純雄. 室内ガス状成分の変異原性測定法の検討. 第1回室内環境学会総会, 東京, 1998.12; 1(2): 85-86

中井里史, 後藤純雄, 森康明, 土井徹, 橋本修二. 老人保健施設における室内環境測定. 第1回室内環境学会総会, 東京, 1998.12; 1(2): 95-96

矢島博文, 古川剛志, 大木正啓, 角田勝則, 後藤純雄, 石井忠浩. サイズ排除クロマト多角度光散乱測定によるフルボ酸の分子量特性に関する研究. 第14回日本腐植物質研究会, 茨城. 1998.11:17

後藤純雄. 環境空気の変異原性の測定. 大気および室内空気の環境基準とその分析法—新有害化学物質を中心にして—. 1998年度東京理科大学分析化学セミナー, 東京. 1998.7:53-63

渡辺征夫, 山田正人, 松澤裕. 廃棄物埋立地からのメタン放出量の推定. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:148-149

渡辺征夫, 七里玄吾, 谷口正訓, 田中弘充, 石井忠浩. 練炭などの家庭用燃料からの汚染物の排出機構解明および中国における排出総量の一次推定. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:249

渡辺征夫, 柳結子, 泉克幸. GC/[気相式 ELCD] による(代替)フロン類の分析. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:306

坂東博, 畠山史郎, 村野健太郎, 酒巻史郎, 渡辺征夫, 駒崎雄一, 田中茂, 秋元肇. IGAC 調査(2): 日本周辺海洋上における窒素酸化物および PAN の分布とその特徴. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:350

田子博, 大谷仁己, 大月邦夫, 大村雅崇, 小島大輔, 渡辺征夫, 内山巖雄. 群馬県における揮発性有機化合物の分布について(I), 調査概要と活性炭管捕集試料の GC/MS 測定. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:496

渡辺征夫, 大村雅崇, 小島大輔, 田子博, 大谷仁己, 村山留美子, 内山巖雄. 群馬県における揮発性有機化合物の分布について(II); GC/PID・FID・ELCD 方式の連続分析装置による測定. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:497

渡辺征夫, 富田潤一, 佐藤英司, 鈴木雅臣, 杉田和俊, 中西基晴, 前田恒明. Peroxyacyl Nitrate 類(PANs)用の航空機搭載型サンプラーの開発. 第39回大気環境学会, 札幌. 1998.9:517

川上修司, 小川利紘, 近藤豊, 北和之, 町田敏暢, 井上元, 菅原敏, 渡辺征夫, Blake D, Liley B, Baumgardner D. BIBLE テストフライト. 第8回大気化学シンポジウム, 豊橋. 1998.2:1-4

川上修司, 小川利紘, 近藤豊, 北和之, 町田敏暢, 渡辺征夫, Blake D, Liley B, 西憲敬. 1998年4月における対流圏上部13kmまでの大気微量成分の航空機観測. 日本気象学会1998年秋季大会, 仙台. 1998.10:167

川上修司, 小川利紘, 近藤豊, 北和之, 町田敏暢, 渡辺征夫, Blake D, Liley B, 西憲敬. 1998年4月の太平洋および日本海上空の対流圏上部における大気微量成分の航空機観測. 第104回地球電磁気・地球惑星圏学会, 水戸. 1998.11:C11-07

大石興弘, 野口泉, 大泉毅, 瀬戸信也, 田畑亨, 飯豊修司, 原宏. 降水化学の全国的状況(1) イオン成分の濃度および沈着量の経年変化. 第39回大気環境学会年会, 1998;

211

大泉毅, 野口泉, 瀬戸信也, 大石興弘, 田畑亨, 飯豊修司, 原宏. 降水化学の全国的状況(2) 湿性沈着の空間分布. 第39回大気環境学会年会, 1998:212

野口泉, 島田沢彦, 大泉毅, 瀬戸信也, 大石興弘, 田畑亨, 飯豊修司, 原宏. 降水化学の全国的状況(3) 非海塩硫酸イオンと硝酸イオンの濃度と沈着量の空間分布. 第39回大気環境学会年会, 1998:213

瀬戸信也, 大石興弘, 大泉毅, 田畑亨, 野口泉, 島田沢彦, 飯豊修司, 原宏. 降水化学の全国的状況(4) 酸性雨測定所とアメダス測定所との降水量の比較. 第39回大気環境学会年会, 1998:214

小山彩子, 金元植, 村山元, 千村隆宏, 堀江勝年, 青木正敏, 大喜多敏一, 福山力, 内山政弘, 原宏, 坂本和彦, 泉克幸. 植物群落における大気汚染物質の沈着速度II. トウモロコシ群落における O₃ と SO₂ の沈着速度. 第39回大気環境学会年会, 1998:339

木村義明, 原宏. 鳥取における1988-1996年度の降水の酸性化現象について. 第39回大気環境学会年会, 1998:420

内山政弘, 福山力, 泉克幸, 坂本和彦, 関口和彦, 金元植, 小山彩子, 青木正敏, 原宏. 畑地での微小粒子の乾性沈着. 第39回大気環境学会年会, 1998:514

小山彩子, 金元植, 村山元, 千村隆宏, 堀江勝年, 青木正敏, 大喜多敏一, 福山力, 内山政弘, 原宏, 坂本和彦, 泉克幸. 森林およびトウモロコシ群落中での硫酸エアロゾル濃度の高度分布と乾性沈着速度の見積もり. 第39回大気環境学会年会, 1998:515

久松由東, 三輪孝雄, 寶田聰, 日高久夫. 金属酸化物共存下におけるポリ塩化ビニルの熱分解・燃焼反応生成物の変異原性. 第39回大気環境学会年会, 1998.9

石井聡子, 大曾根美紀, 稲津晃司, 秋鹿研一, 久松由東. トリフェニレンと二酸化窒素の反応による変異原物質の生成. 第39回大気環境学会年会, 1998.9

八向真帆, 工藤善之, 古谷圭一, 久松由東, 高橋千太郎. 地下鉄構内と地上大気中の多環芳香族炭化水素量の比較. 第39回大気環境学会年会, 1998.9

久松由東. 大気環境中におけるニトロアレーンの生成とその変異原性. 日本環境変異原学会第27回大会, 1998.11(シンポジウム)

久松由東, 三輪孝雄, 寶田聰, 日高久夫. ポリ塩化ビニルの熱分解, 燃焼反応生成物の変異原性. 日本環境変異原学会第27回大会, 1998.11

稲津晃司, 小林孝彰, 久松由東. 粒子担体上のフルオランテンの気-固不均一ニトロ化反応; 空気への SO₂ と NO₂ の添加効果. 日本化学会第74春季年会, 1998.3

石井聡子, 稲津晃司, 小林孝彰, 久松由東. ベンツ(a)ピレンと二酸化窒素の反応生成物の変異原性と変異原物質の同定. 日本化学会第74春季年会, 1998.3

学術報告書等

渡辺征夫, 後藤純雄. 民生用燃焼器具からの酸性雨原因

物質の排出制御技術の実用化に関する研究。地球環境研究総合推進費 平成9年度研究成果報告書、中間報告・(酸性雨)。1998;105-109

渡辺征夫, 後藤純雄, 田中勝, 山田正人, 池口孝, 大迫政浩。廃棄物リサイクルにともなう温室効果ガスの排出制御技術に関する研究。地球環境研究総合推進費 平成9年度研究成果報告書、中間報告・(温暖化, 対策)。1998;36-38

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫。廃棄物処理分野におけるメタン, N_2O の発生制御対策に関する研究。地球環境研究総合推進費平成8年度終了研究成果報告書。1998

田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫。廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究。平成9年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集。1998; p.11-1~11-17

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 渡辺征夫, 後藤純雄, 他。生体試料測定による地域住民の有害大気汚染物質暴露アセスメントに関する研究。平成9年度環境庁総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集。1998; p.14-1~14-17

渡辺征夫(分担執筆)。日本の大気汚染経験に関する資料整理に関する調査報告書。1997年度, 公害健康被害補償予防協会委託業務報告書。1998

渡辺征夫(分担執筆)。亜酸化窒素の排出低減に関する調査研究報告書。地球環境産業技術研究機構発行。1998

渡辺征夫(分担執筆)。平成9年度環境測定分析統一精度管理調査結果(模擬水質試料, 模擬大気試料)。環境庁環境研究技術課発行。1998

後藤純雄, 渡辺征夫, 遠藤治, 町井研士。空気中の微量発癌関連物質の人体曝露測定法および曝露要因に関する研究—特に発癌プロモーターを中心として—。(研究代表者: 後藤純雄)平成9年度環境保全成果集。1998;16-1~16-12

後藤純雄。生活環境空気中の粒子状物質等のキャラクター化と汚染実態の把握に関する研究。(研究代表者: 松下秀鶴)平成9年度大気汚染による健康影響に関す

る総合的研究成果集, 公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 財団法人日本環境衛生センター。1998;98-108

内山巖雄, 荒川はつ子, 村山留美子, 後藤純雄, 渡辺征夫, 他。生物学的曝露マーカーを用いた汚染物質の曝露量把握に関する研究。(研究代表者: 内山巖雄)平成9年度大気汚染による健康影響に関する総合的研究成果集, 公害健康被害補償予防協会委託業務報告書, 財団法人日本環境衛生センター。1998;129-133

後藤純雄。不完全燃焼排出粒子中の化学汚染物質の連続モニタリング手法に関する研究。(委員長: 森田昌敏)有害性廃棄物の分析手法の総合化・簡素化に関する研究 平成9年度報告書, 財団法人廃棄物研究財団。1998;115-125

後藤純雄, 他。低濃度ガス状成分の変異原性測定法に関する研究。(研究代表者: 河合昭宏)平成9年度協同研究報告書, ⑨日本自動車研究所。1998

後藤純雄(分担執筆)。中日合作研究項目 生物固硫型煤本地化試験研究, 技術報告。重慶市環境科学研究所(中方), 社団法人国際善隣協会(日方)。1998

後藤純雄。ガス状発がん関連物質の室内空気中濃度と呼気中濃度の関係。(専門部会長: 寺田雅昭)平成8年度日米医学協会研究会, 突然変異・がん原専門部会報告。1998;78-80

後藤純雄。2種の軽油使用時の排気ガス粒子の成分の比較。(主任研究者: 岩井和郎)低硫黄軽油使用時のディーゼル排出ガスの慢性健康影響調査, 財団法人結核予防会・結核研究所。1998;14

福原守雄, 後藤純雄, 他。生活環境中の発がん物質のリスク評価と低減化に関する研究。(主任研究者: 福原守雄)平成9年度がん克服新10か年戦略プロジェクト研究報告書。1998。3;156-160

久松由東, 原宏。廃プラスチック類の熱分解・燃焼反応に伴う有害化学物質生成の低減化及び生物学的評価に関する基礎的研究。平成10年度環境保全研究成果集。1998;10-1~10-10

Originals

Ishikawa Y, Yoshimura K, Mori A, Hara H. High sulfate and nitrate concentrations in precipitation at Nagasaki impacted by long-distant and local sources. *Atmospheric Environment*. 1998; 32: 2939-2945

Ayers GP, Fukuzaki N, Gillett RW, Sellick PW, Powell JC, Hara H. Thymol as a biocide into Japanese rainwater. *Journal of Atmospheric Chemistry*. 1998; 30: 301-310

Watanabe I, Nakanishi M, Tomita J, Hatakeyama S, Murano K, Mukai H, Bandou H. Atmospheric peroxyacyl nitrates in urban/remote sites and the lower troposphere around Japan. *Environmental Pollution*. 1998; 102(S1): 253-261

Horikoshi S, Serpone N, Hisamatsu Y, Hidaka H. Photocatalyzed degradation of polymers in aqueous semiconductor suspensions. 3. Photooxidation of a solid polymer: TiO_2 -blended poly(vinyl chloride) film. *Environ. Sci. Technol*. 1998; 32: 4010-4016

Enya T, Suzuki H, Hisamatsu Y. Reaction of Benzanthrone (7H-Benz[d,e]anthracene-7-one) with nitrogen dioxide alone or in admixture with ozone. Implication for the atmospheric formation of genotoxic 3-nitrobenzanthrone. *Bull. Chem. Soc. Jpn.* 1998; 71: 2221-2228

Enya T, Kawanishi M, Suzuki H, Matsui S, Hisamatsu Y. An unusual DNA adduct derived from the powerfully mutagenic environmental contaminant 3-nitrobenzanthrone. *Chemical Research in Toxicology*.

1998; 11(12): 1460-1467

Franzen R, Goto S, Tanabe K, Morita M. **Genotoxic activity of chlorinated butenoic acids in Salmonella typhimurium strains TA98, TA100 and TA104.** *Mutation Research*. 1998; 417: 31-37

Mineki S, Sugawara F, Matsuo M, Uchiyama I, Goto S. **Degradation by a pyrene-assimilating bacterium of polycyclic aromatic hydrocarbons in heavy oil leaked from a wrecked tanker.** *J Jpn Oil Chem Soc*. 1998; 47(12): 49-52

Proceedings with abstracts

Sugita K, Asada S, Okazawa T, Goto S, Endo O, Morita M. **PCDDs/PCDFs in suspended particulate matter in Tokyo urban air.** *Organohalogen Compounds*. 1998; 39: 369-372

Hara H. **Acid deposition monitoring activities in**

Japan and East Asia. NADP Technical Committee Meeting. St. Petersburg, Florida, USA. Oct. 1998; 14 (Invited Talk)

Hara H, Kimura Y. **Acidification of precipitation at Tottori, Japan.** IGAC's DEBITS-CAAP Workshop. Bangkok. Nov. 1998; 39-40

Hara H, Kimura Y. **Increasing acidity of precipitation in Tottori, Japan.** International Symposium on Tropospheric Ozone in East Asia and its Potential Impacts on Vegetation. Tokyo. Nov. 30-Dec. 1. 1998; 83-86

Matsumoto M, Okita T, Hara H. **Long-term measurements of atmospheric gases and aerosol species using a new simple denuder system and estimation of dry deposition by inferential method.** 6th International Conference of Atmospheric Sciences and Application to Air Quality. Beijing, China. Nov. 1998; 35

建築衛生学部

Department of Architectural Hygiene Engineering and Housing

原 著

池田耕一, 野崎淳夫, 吉澤晋. **開放型石油暖房器具の窒素酸化物発生特性 (その1).** 日本建築学会計画系論文集. 1998; (503): 39-46

池田耕一, 興水ヒカル, 栃原裕, 岩田利枝, 市川勇, 石井享子, 徐愼之, 松井清彦, 倉下美和子, 梶尾厚子, 岡田幸枝, 知念照子, 稲垣恵子, 植竹真弓, 豊岡有賀, 下田美穂, 田中あゆ子. **都市部高齢者住居の室内環境因子に関する実態調査.** 人間と生活環境. 1998; 5(2): 132-138

池田耕一, 木村洋, 松村年朗, 堀雅宏. **集合住宅における室内空気質測定と改善方法に関する実験的研究.** 臨床環境医学: 日本臨床環境医学会会誌. 1998; 7(1): 31-43

池田耕一, 塩津弥佳, 吉澤晋, 野崎淳夫. **生活時間調査による屋内滞在時間と活動量, 室内空気汚染物質に対する曝露量評価に関する基礎的研究, その1.** 日本建築学会計画系論文集. 1998; (511): 42-52

浦橋久美子, 鈴木晃. **在宅ケアにおける対象者の生活把握の方法としての見取り図採取の効果.** 保健婦雑誌. 1998; 54(6): 492-499

高橋美加, 栃原裕, 永井由美子, 興水ヒカル, 池田耕一, 岩田利枝, 市川勇. **多板型放射冷房システムを用いたオフィスの温熱環境評価.** 人間と生活環境. 1998; 6(1): 40-45

総 説

池田耕一. **室内空気汚染の現状と対策.** 第15回エアロゾル科学・技術研究討論会論文集. 1998; 95-103

池田耕一. **健康住宅を考える.** 第1回室内環境学会総会講演集. 1998; 30-37 (招待講演)

松本恭治. **忍び寄るマンションクライシス—アンケート**

から見える高齢化問題. 公衆衛生情報. 1998; 28: 44-45

松本恭治. **健康を配慮した住環境実現のシステムづくり.** 生活と環境. 1998; 43: 18-23

松本恭治. **分譲集合住宅の老朽化と高齢化.** 非営利法人, 全国公益法人協会. 1998; 2-3

松本恭治. **老朽マンションの建て替えは可能か—東京都住宅政策審議会答申の意味—.** 建築ジャーナル. 1998; 12-13

鈴木晃. **高齢社会におけるビル管理の新しい視点—ハートビル法, 福祉のまちづくりをめぐる—.** ビルと環境. 1998; 81: 5-17

鈴木晃. **健康な暮らしを守る住まい—「住まいと健康」問題と保健婦のアプローチ—.** 保健婦雑誌. 1998; 54(13): 1082-1087

鈴木晃. **住宅改善支援から新築時の住宅計画へ.** GER-ONTOLOGY. 1998; 10(4): 349-355

岩永俊博, 鈴木晃, 上畑鉄之丞. **公衆衛生院での合同臨地訓練.** 公衆衛生. 1998; 62(8): 565-568

著 書

池田耕一. **室内空気汚染の原因と対策.** 日刊工業新聞社. 1998

松本恭治. **最近の「住まいと健康」問題の背景.** 日本住宅会議編. 住宅白書1998, 住まいと健康. ドメス出版. 1998; 23-26

松本恭治. **集合住宅と高齢者の健康.** 日本住宅会議編. 住宅白書1998, 住まいと健康. ドメス出版. 1998; 70-74

松本恭治. **「住まいと健康」の取り組みの展望.** 日本住宅会議編. 住宅白書1998, 住まいと健康. ドメス出版. 1998; 142-146

鈴木晃. 在宅ケアと居住環境. 日本住宅会議編. 住宅白書1998, 住まいと健康. ドメス出版, 1998; 54-57

鈴木晃. 住宅改善の支援者とその技術. 日本住宅会議編. 住宅白書1998, 住まいと健康. ドメス出版, 東京: 1998; 182-185

抄録のある学会報告

池田耕一, 熊谷一清, 木村洋, 堀雅宏, 飯倉一雄, 吉澤晋. 建材のチャンパー実験の換気設計へ応用に関する基礎的研究. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 1998; 129-130

池田耕一, 熊谷一清, 木村洋, 堀雅宏. 海外における建材からの VOC 放散特性検証のためのチャンパー実験ガイドラインの比較. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 1998; 145-148

池田耕一, 大村道雄, 登旭文, 大幡保夫. 室内空気清浄機の性能比較(その3), ファンフィルター式とイオンフィルター式について. 第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会, 1998; 393-398

池田耕一, 高柳保, 大藪和太郎. ビル管理法対象建築物における空調設備等の維持管理方法に関するアンケート調査. 平成10年度空気調和・衛生工学会学術講演会, 1998; 305-308

池田耕一, 木村洋, 堀雅宏, 松村年朗, 熊谷一清, 飯倉一雄. 集合住宅における化学汚染. 平成10年度空気調和・衛生工学会学術講演会, 1998; 605-608

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 飯倉一雄. 我が国における室内化学物質汚染低減化対策の現状について. 平成10年度空気調和・衛生工学会学術講演会, 1998; 621-624

池田耕一, 野崎淳夫, 入江建久, 堀雅宏, 小竿真一郎, 飯倉一雄. 住宅における建材由来のホルムアルデヒド及び VOC 汚染に関する研究(仕上げ材部位別発生量及び室内濃度予測モデルの検討). 平成10年度空気調和・衛生工学会学術講演会, 1998; 1269-1272

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 飯倉一雄, 吉澤晋. ベイクアウトによる低ホルマリン仕様住宅でのホルムアルデヒド, VOC の発生率に関する研究. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 819-820

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 入江建久, 小竿真一郎, 原田浩一郎, 吉澤晋. 建材由来の VOC ホルムアルデヒドに関する研究(1) VOC 発生量・濃度予測に関して. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 839-840

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 入江建久, 小竿真一郎, 八町雅康, 吉澤晋, 山本憲之. 建材由来の VOC ホルムアルデヒドに関する研究(2) HCHO 発生量・濃度予測に関して. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 841-842

池田耕一, 野崎淳夫, 堀雅宏, 入江建久, 小竿真一郎, 吉澤晋, 飯倉一雄. 建材由来の VOC ホルムアルデヒドに関する研究(3) 室温設定に伴う VOC 組成変化に関して.

日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 843-844

池田耕一, 坊垣和明, 堀雅宏, 松村年朗, 熊谷一清. 実験住宅における内装材の室内化学物質濃度に及ぼす影響に関する研究, その1, 全体計画及び実験の概要. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 871-872

池田耕一, 熊谷一清, 坊垣和明, 堀雅宏, 松村年朗. 実験住宅における内装材の室内化学物質濃度に及ぼす影響に関する研究, その2, 3仕様の比較実験. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 873-874

池田耕一, 熊谷一清, 坊垣和明, 堀雅宏, 松村年朗. 実験住宅における内装材の室内化学物質濃度に及ぼす影響に関する研究, その3, 換気とベイクアウトの効果に関する実験. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; (D-II, 環境工学) 875-876

池田耕一, 熊谷一清, 飯倉一雄, 堀雅宏, 松村年朗, 野崎淳夫, 木村洋, 吉澤晋. 住宅における揮発性有機化合物に関する実態調査. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998; 111

池田耕一. 室内空気質に関する国内外の動向. 空気調和・衛生工学, 1998; 72(5): 43-47

吉田拓正, 長田泰公, 川口毅, ほか. 道路交通騒音が住民に及ぼす影響の一検討. 日本音響学会秋季講演, 1998; 709-710

吉田拓正, 徳山久雄. 道路交通騒音に対する住宅の遮音性能. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; 261-262

上野秀紀, 松本恭治. 長期経過した分譲集合住宅の中古価格変動と維持管理について. その1, 管理費用の実態. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; 1195-1196

松本恭治, 上野秀紀. 長期経過した分譲集合住宅の中古価格変動と維持管理について. その2 管理運営の実態. 日本建築学会1998年度大会, 九州, 1998; 1197-1198

松本恭治. 長期経過分譲集合住宅の高齢者問題. 日本マンション学会大会, 1998; 131-137

三橋徹, 松本恭治. 集合住宅に関わる自治体の環境衛生施策について. 日本マンション学会大会, 1998; 108-111

松本恭治. 集合住宅の維持管理と高齢化問題. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998; 392

浦橋久美子, 鈴木晃. 在宅療養者の生活把握に見取り図を利用する有効性. 第2回日本在宅ケア学会, 横浜, 1998. 1; 74-75

鈴木晃. 住宅改善の遠隔地支援のためのアセスメント票の検討(その1). 日本建築学会大会, 九州, 1998.9; (F-1) 1189-1190

鈴木晃, 富田容枝. 住宅改善の遠隔地支援のための情報交換のあり方について. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 389

山田寛子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の支援方法に関する研究(ジェネラリストの役割の検討). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜, 1998.10; 390

佐々木玲子, 鈴木晃, 西田茂樹, 山田和子. 住宅改善の

支援方法に関する研究(在宅療養者アセスメント票). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10:390

星野朋子, 鈴木晃. 環境衛生の視点を加えた居住環境改善支援. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10:391

高宮聖子, 鈴木晃. 痴呆性老人の在宅ケアと住宅環境. 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10:391

佐々木昭彦, 鈴木晃, 石井享子. 高齢化と家庭・公共施設の共生特性(ユニバーサル化). 第57回日本公衆衛生学会, 岐阜. 1998.10:392

学術報告書等

池田耕一, 他. オフィスにおける湿度の人体影響. 社団法人空気調和・衛生工学会, オフィス用高温低湿空調の温熱設計用ガイドラインの策定に関する調査平成9年度研究報告書. 1998; 2.1-2.28

池田耕一, 他. 居住係数. 日本保健物理学会, ランドの人体への影響評価専門委員会報告書. 1998; 88-101

池田耕一, 他. 内装・実験分科会報告書. 健康住宅研究会, 内装・実験分科会報告書. 1998; 4-70

池田耕一, 他. 室内空気汚染の低減に関する調査研究. 健康住宅研究会報告書. 1998

池田耕一, 他. 住宅における換気量の推定. 国民線量推定のための基礎調査. 1998; (XXI): 43-46

池田耕一. 室内空気汚染に対する建築的対応. 臨床環境医学, 日本臨床環境医学会会誌. 1998; 7(1): 19-28

池田耕一, 他. 特定建築物以外の建築物の衛生的課題に関する調査研究報告書. 平成9年度厚生科学研究費補助金(健康地球計画推進研究事業)シックビル症候群に関する研究報告書. 1998

池田耕一, 他. 雑用水等の維持管理に関する研究. 給排水設備の維持管理方法に関する検討部会報告書, 平成9年度厚生科学研究費補助金(健康地球計画推進研究事業)シックビル症候群に関する研究報告書. 1998

池田耕一, 他. 換気性能評価小委員会平成9年度活動報告書. 社団法人空気調和衛生工学会, 換気性能評価小委員会報告書. 1998

池田耕一, 他. 快適で健康的な住宅に関する検討部会報告書. 快適で健康的な住宅に関する検討会議報告書. 1998

池田耕一, 他. 住宅用換気システムの評価と検証. IEA/ANNEX27対応委員会平成9年度報告書. 1998

池田耕一. 寄宿舎の衛生管理. 建設作業附属寄宿舎の衛生管理及び寄宿労働者の健康管理マニュアル. 1998; 1-27

池田耕一. VOC, ホルムアルデヒド等の化学物質による室内空気汚染問題, 主旨説明. 1998年度日本建築学会環境

工学部門研究協議会資料. 1998; 1

池田耕一. VOC, ホルムアルデヒド等の化学物質による室内空気汚染問題, 汚染の現状. 1998年度日本建築学会環境工学部門研究協議会資料. 1998; 3-9

池田耕一, 他. 建築物における汚染物発生量の評価手法に関する研究. 官民共同研究「健康的な居住環境形成技術の開発」平成9年度概要報告書. 1998; 37-73

池田耕一, 他. 建材・機材等の揮発性有機化学物質に関するガイドライン. 平成9年度快適な暮らしのスタイル開発促進事業報告書. 1998

池田耕一. 『健康住宅』の空気汚染問題. ベース設計資料 88. 1998; 19-24

池田耕一. 住まいと健康. HOME CLUB. 1998; 2-3

池田耕一. 壁装材料に関する汚染防止対策. 建築雑誌. 1998; 113(1421): 38-42

池田耕一. ホルムアルデヒドとVOCによる室内空気汚染. 生活と環境. 1998; 43(4): 24-33

池田耕一. シックハウス症候群. 生活と環境. 1998; 43(5)24-34

池田耕一. アレルギー問題に対する建築的対応. 公衆衛生研究. 1998; 47(1): 24-28

池田耕一. 健康住宅をめぐる最近の動向. Better Living. 1998; (161): 11-17

池田耕一. 木造の科学/シックハウス症候群1. 木の建築. 1998; (44): 41-43

池田耕一. 室内空気質に対する問題点とその対応技術, その1, 揮発性有機化合物(VOC), ホルムアルデヒド, 臭気発生原因物質評価法対策. BE建築設備技術. 1998; 49(8): 32-52

池田耕一. 健康建材と空気汚染. 建築技術. 1998; (585): 120-124

池田耕一. 室内空気汚染防止手段としての換気. 東京都設備設計事務所協会誌. 1998; (14): 48-50

吉田拓正. 環境騒音測定及び交通量調査. (分担)平成9年度騒音振動の健康影響に関する調査報告書. 東京都. 1998

松本恭治, 他. 集合住宅と健康—集合住宅の快適な暮らし方に関する研究調査報告書. 住宅・都市整備公団住宅都市総合研究所. (財)ベターリビング. 1998

松本恭治, 他. 快適で健康的な住宅に関する検討会議報告書. 吉沢晋(委員長), 厚生省生活衛生局. 1998

鈴木晃, 松本恭治. 居住支援を目的とした専門家教育—公衆衛生従事者に対する住教育—, 住まいの地域性と住教育. 1998年度日本建築学会大会建築経済部門, パネルディスカッション資料. 1998; 45-46

Proceedings with abstracts

Ikedo K. Indoor air quality problems in Japanese air-tight houses. Proceedings of Second International Conference on Human-Environment System, ICHES '98. 1998; 600-603

Ikedo K, Kimura H, Matsumura T, Kumagai K, Ikura K. Experimental study on improving indoor air quality in apartment buildings. Proceedings of Second International Conference on Human-Environment System, ICHES '98. 1998; 655-658

Ikedo K, Shiotsu M, Yoshizawa S, Irie T. On the

performance evaluation of air cleaners in Japanese residence. Proceedings of Second International Conference on Human-Environment System, ICHES '98. 1998; 658-662

Ikeda K, Kumagai K, Matsumura T, Nozaki A, Kimura H, Iikura K, Yoshizawa S. **Measurement on VOCs in Japanese residences.** Proceedings of Second International Conference on Human-Environment System, ICHES '98. 1998; 675-678

Ikeda K, Shiotsu M, Iida T, Yoshizawa S. **On the long term radon concentration measurements in the**

basement of Japanese hospitals. Proceedings of 7th Towa University International Symposium, Radon and Thron in the Human Environment. 1998; 391-396

Ikeda K, Kumagai K, Kimura H, Hori M, Horiki M, Yoshizawa S. **Experimental study concerning the reduction of VOCs concentration in apartment buildings.** EPIC'98 2nd European Conference on Energy Performance and Indoor Climate in Buildings and 3rd Int. Conf. on Indoor Air Quality, Ventilation and Energy Conservation in Buildings. 1998; 351-356

水道工学部 Department of Water Supply Engineering

原 著

伊藤雅喜. 浄水分野における膜利用. 空気調和・衛生工学. 1998; 72(7): 563-567

大谷倫子, 佐々木喜一, 竹内正博, 幸喜稔, 田畑彰久, 川崎睦男, 相澤貴子, 真柄泰基. 水道水中のハウ素とその一日全摂取量への寄与に関する研究. 水道協会雑誌. 1998; 67(10): 36-43

総 説

国包章一. 近未来の浄水技術. 用水と廃水. 1998; 40(4): 7-11

国包章一. 飲料水としての水道水. 一その安全性をめぐって. 生活教育. 1998; 42(4): 50-53

国包章一. 水質基準および監視項目の見直しの動向. 水道技術ジャーナル. 1998; 8: 28-32

北澤弘美. 望まれる広域的な水質管理と監視体制. 水道公論. 1998; 34(8): 36-38

相澤貴子. 浄水処理における塩素代替消毒技術. 水環境学会誌. 1998; 21(9): 13-18

相澤貴子. 水道水の安全性に思う. 水道公論. 1998; 34(9): 64-65

著 書

国包章一. 水のリスクマネジメント実務指針. (共著)サイエンスフォーラム, 1998.6

国包章一. 膜処理. サイエンスフォーラム, 1998; 6

相沢貴子. 二酸化塩素による細菌・ウイルスの除去. 土屋悦輝, 中室克彦, 酒井康行編著. 水のリスクマネジメント実務指針. サイエンスフォーラム, 1998.6

抄録のある学会報告

国包章一. 日本における浄水処理の現状と将来. 国際水道膜フォーラム, 1998; 67-73

国包章一. 水道水への膜技術の応用. 一どのような膜処理が水質基準に合うか. 第38回高分離機能材料研究会,

1998; 1-4

竹田静雄, 赤澤寛, 国包章一. ろ過水の濁度及び微粒子数の相互関係. 第49回全国水道研究発表会, 1998; 446-447

五味謙之, 北澤弘美, 国包章一, 古谷博. *Microcystis viridis* が産生するミクロシスチンの増殖過程における変化. 第49回全国水道研究発表会, 1998; 574-575

北澤弘美, 五味謙之, 亀崎新一, 安田英幸, 国包章一. *Microcystis viridis* が産生するミクロシスチンの塩素処理及び UV 照射による分解. 第49回全国水道研究発表会, 1998; 578-579

国包章一. 硝酸性窒素等による水道水の汚染とその健康影響. 公開シンポジウム「土と水と食品の中の硝酸 (NO₃) をめぐる諸問題」, 1998; 33-43 (講演)

国包章一. 水道における施設基準と水質基準の動向について. 第8回水道技術セミナー, 1998; 11-20

国包章一. 水道水への膜技術の応用. 第38回高分離機能材料研究会, 1998; 1-4

伊藤雅喜. 高度処理 MAC21の成果. ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム'98東京, 1998; 3: 3-1-1~3-1-6

北澤弘美, 国包章一. クリプトスポリジウム等の水道水源調査データの解析. 第1回日本水環境学会シンポジウム, 1998; 119-120

小林健一, 伊藤雅喜, 住友恒. 異臭未対策としての浄水処理対策—生物起因の異臭味水対策に関する研究報告(2)—. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998; 6: 570-571

澤田恵枝, 野嶋義教, 浅見真理, 相沢貴子. 水道水源中に存在するヒ素の化学形態別分離定量法及び採水法の検討. 第32回水環境学会年会, 千葉. 1998.3: 128

胡建英, 森田健志, 増田修一, 相沢貴子. 最高被占軌道 (HOMO) エネルギーによる農薬のオゾン分解速度の評価. 第32回水環境学会年会, 千葉. 1998.3: 169

浅見真理, 雨宮潤治, 比嘉悟, 相沢貴子, 真柄泰基. 光触媒による有機副生成物の生成. 第32回水環境学会年会, 千葉. 1998.3: 351

相沢貴子, 胡建英, 滝埜昌彦, 真柄泰基. LC/MS 法によ

る熱分解性・極性農薬の分析における APCI, ESI, FAB イオン化法の比較. 第32回日本水環境学会年会, 千葉. 1998.3:116

井上嘉則, 伊達由紀子, 酒井徹志, 澤田恵枝, 野嶋義教, 浅見真理, 相沢貴子. LC-ICP/MS によるヒ素の化学形態別定量における測定条件の最適化. 日本工業用水協会第33回研究発表会, 1998.3

相沢貴子, 小笠原英城, 浅見真理, 岡田光正, 茂庭竹生, 北木靖. 促進酸化処理における臭素酸イオンの生成. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998.6:436-437

雨宮潤治, 相沢貴子, 比嘉悟, 浅見真理, 眞柄泰基. 紫外線照射による光触媒の効果と副生成物について. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998.6:438-439

守田康彦, 浅見真理, 相沢貴子. CTAS 法によるポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテル(APE)測定のための基礎的検討. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998.6:490-491

澤田恵枝, 野嶋義教, 浅見真理, 相沢貴子, 眞柄泰基, 井上嘉則, 酒井徹志. 水中に存在するヒ素の化学形態別分離定量法の検討. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998.6:486-487

野嶋義教, 澤田恵枝, 浅見真理, 相沢貴子. NF 膜ろ過法を用いたヒ素除去処理. 第49回全国水道研究発表会, 広島. 1998.6:226-227

雨宮潤治, 相沢貴子, 浅見真理, 小笠原英城. インジゴによる光触媒酸化力の評価方法. 第5回光触媒シンポジウム, 東京. 1998.12:150-151

高木博夫, 米本純三, 相沢貴子. 酸化チタンを用いた農薬の光分解. 第32回日本水環境学会年会, 1998.3:82

森田健志, 胡建英, 増田修一, 相沢貴子. 最高被占軌道(HOMO)エネルギーを指標としたオゾンによる農薬の分解性評価. 第49回全国水道研究発表会, 1998.5:142-143

増田修一, 胡建英, 相沢貴子. オクタノール水分配係数を用いた水道原水中農薬の粉末活性炭への吸着性評価. 第49回全国水道研究発表会, 1998.5:148-149

濱谷幸子, 富森聡子, 橋爪清, 松本正, 浅見真理, 野嶋義教, 澤田恵枝, 相沢貴子. 三重県北勢地域における井戸の帯水層別水質組成. 東海公衆衛生学会, 1998.5

濱谷幸子, 富森聡子, 橋爪清, 松本正, 浅見真理, 野嶋義教, 澤田恵枝, 相沢貴子. 三重県北勢地域における地下水中の化学成分. 全国衛生化学技術協議会, 1998.10

相沢貴子, 守田康彦, 田畑彰久. 水道における非イオン界面活性剤の問題. 第1回日本水環境学シンポジウム, 1998.9:5-6

学術報告書等

国包章一. 湖沼/ダム湖生態系の持続的保全・修復・創生手法の確立. 文部省科学研究費重点領域研究「人間地球系」平成9年度研究成果報告, 1998:101-102

国包章一, 他. 環境と健康問題を中心とした国際医療協

力の在り方に関する研究. 厚生省国際医療協力研究委託事業平成9年度研究報告書, 1998:81-99

国包章一. 水道水源対策. 水環境保全技術研修マニュアル:総論, 社団法人海外環境協力センター, 1998

国包章一, 北澤弘美, 伊藤雅喜. 藻類増殖制御の面から見た公共用水域の水質管理技術の向上に関する研究. 平成9年度環境庁環境保全研究成果集, 1998

国包章一, 相沢貴子, 浅見真理, 他. 清浄で安心な生活環境の創造. 環境低負型浄化技術の開発と応用(平成9年度), 科学技術庁科学技術振興調整費による生活・社会基盤研究班, 1998

国包章一. 微生物と膜処理について. 平成10年度飲料水検査技術講習会講演資料集, 1998:11-19

相沢貴子, 浅見真理, 他. 水道水源水域及び利水過程における親水性利水障害物質の適正管理に関する研究. (主任研究者:中村文雄)平成8年度環境庁環境保全研究成果集, 1998

相沢貴子, 浅見真理, 他. 平成9年度オゾン処理副生成物に関する研究報告書. オゾン処理副生成物に関する研究委員会(主任研究者:眞柄泰基)日本水道協会, 1998

相沢貴子, 浅見真理, 他. 平成9年度水道における代替消毒剤の評価に関する研究報告書. 塩素代替消毒剤の導入に関する委員会(委員長:眞柄泰基)日本水道協会, 1998

国包章一, 相沢貴子, 浅見真理, 他. 平成9年度清浄で安心な生活環境の創造. 環境低負荷型浄化技術の開発と応用, 科学技術庁科学技術振興調整費による生活社会基盤研究班, 1998

相沢貴子, 浅見真理, 他. 平成9年度有害金属の形態別分析技術の開発と地下水の汚染機構解明に関する研究報告書. ヒ素処理技術委員会(処理技術研究班長:眞柄泰基), 1998

相沢貴子, 他. 平成9年度有害金属の形態別分析技術の開発と地下水の汚染機構解明に関する研究. 平成8年度環境庁環境保全研究成果集, 1998

相沢貴子, 浅見真理, 他. 浄水処理操作によって生じる有害物質の抑制に関する調査. 平成9年度環境庁委託業務結果報告書, 日本水環境学会, 1998.3

相沢貴子, 他. 水道における未規制化学物質の調査研究報告書. 平成9年度厚生科学研究費, 厚生省, 1998.3

相沢貴子, 他. 平成9年度未規制受水槽等に係わる衛生確保方策検討調査報告書. 日本環境衛生センター, 1998.3

相沢貴子, 他. 平成9年度突発水質汚染の監視対策に関する研究報告書. 日本水道協会, 1998.3

相沢貴子, 浅見真理, 他. オゾン処理における臭素酸イオン生成に対するりん酸, 炭酸, アンモニア共存の影響. 土木学会環境工学委員会, 用水・排水の高度処理技術に関する研究小委員会研究報告書, 1998

国包章一, 相沢貴子, 伊藤雅喜, 他. WHO 飲料水水質ガイドライン改訂に対応するための化学物質に関する研究報告書. 平成9年度厚生科学研究費, 厚生省, 1998.3

Originals

Hu J-Y, Aizawa T, Ookubo Y, Morita T, Magara Y. **Adsorptive characteristics of ionogenic aromatic pesticides in water onto powdered activated carbon.** *Water Research*. 1998; 32(9): 2593-2600

Hu J-Y, Aizawa T, Asami M, Magara Y. **Analysis of thermalabile and polar pesticides in environmental water with capillary chromatography-frit fast atom bombardment mass spectrometry.** *Water Science Technology*. 1998; 38(7): 169-177

Kunikane S, Itoh M, Magara Y. **Advanced membrane technology for application to water treatment.** *Water Supply*. 1998; 16(1/2)313-318

Proceedings with abstracts

菅原繁, 眞柄泰基, 国包章一. **An evaluation of Japan's official development assistance in the water supply sector and its future possibility.** 第49回全国水道研究発表会. 1998; 626-627

Kunikane S, Itoh M, Magara Y. **Development of membrane filtration technology and its application to water supply.** 第7回日韓水環境シンポジウム. 1998; 70-81

Kunikane S. **Membrane technology application to**

drinking water. MRS 第10回年次総会・学術シンポジウム. 1998; 51

Kunikane S. **Integrated management of water supply and environment: Focusing on iron, manganese and arsenic.** タイ国水道技術訓練センターRTC ソンクラ開所記念セミナー. 1998

Aizawa T, Asami M, Abe A, Magara Y. **By-products during photocatalytic treatment of water—Ultra violet and titanium dioxide—.** IAWQ 19th Biennial International Conference. Vancouver, Canada. 1998.6

Abe A, Aizawa T. **Distribution of 1,4-dioxane in relation to possible sources in the water environment (Kanagawa prefecture, Japan).** IAWQ 19th Biennial Conference on Water Quality. Vancouver, Canada. 1998, 6.

Hu J-Y, Aizawa T, Asami M, Magara Y. **Analysis of thermalabile and polar pesticides in environmental water with capillary chromatography—frit fast atom bombardment mass spectrometry.** IAWQ 19th Biennial International Conference. Vancouver, Canada, 1998.6

Report

Kunikane S, et al. **Water pollution control technology manual.** Overseas Environmental Cooperation Center, 1988

廃棄物工学部

Department of Waste Management Engineering

原 著

田中勝, 辻吉隆, 松田朗. **ダイオキシンの規制強化に対応した医療廃棄物の院内処理の検討.** 医療廃棄物研究. 1998; 11(1): 13-22

小野芳朗, 山田正人, 宗宮功, 小田美光. **焼却廃棄物中の窒素化合物による遺伝毒性.** 廃棄物学会論文誌. 1998; 9(4): 115-122

総 説

田中勝, 内山巖雄. **ダイオキシン汚染問題.** 公衆衛生研究. 1998; 47(2): 138-147

田中勝. **世界の廃棄物処理.** 土木学会誌. 1998; (83): 36-38

田中勝. **廃棄物の処理'98.** 食料・栄養・健康. 1998; No.18: 33-39

田中勝. **災害時におけるごみ等の衛生的な保管・処理確保について.** ビルと環境. 1998; No.80: 30-33

田中勝. **廃棄物焼却に係わる有害大気汚染物質対策.** 空気清浄. 1998; No.232: 22-30

田中勝. **産業廃棄物処理の現状と課題.** 公衆衛生. 1998; 62(5): 35-41

田中勝. **ダイオキシン問題と地方公共団体の対応.** 月刊自治フォーラム. 1998; 464: 16-21

田中勝. **都市循環系構築に向けた廃棄物分野の取り組み.** 機械学会誌. 1998; 101(953): 36-41

田中勝. **ごみ焼却炉から排出されるダイオキシンとその対策.** 化学. 1998; 52(10): 26-30

田中勝. **OECDの拡大生産者責任(EPR)戦略と日本の取り組み.** 月刊エコインダストリー. 1998; 3(9): 45-51

田中勝. **資源循環型社会における地方行政の役割.** 翔. 1998; No.2: 1-7

田中勝. **環境への有害化学物質排出とその削減対策—廃棄物処理施設の場合.** ビルと環境. 1998; No.83: 38-45

田中勝. **今知っておきたい環境問題①ダイオキシン.** 保健婦雑誌. 1998; 54(13): 166-172

土井由利子, 田中勝, 池口孝, 河村清, 大迫政浩, 山田正人, 井上雄三. **開発途上国における廃棄物プロジェクト評価に関する基本概念と指標について.** 公衆衛生研究. 1998; 47(2): 158-133

矢橋毅, 古川溶介, 大森英昭, 山本康次, 河村清史. **膜分離活性汚泥法を用いた小型合併処理浄化槽の開発(第1報).** 月刊浄化槽. 1998; No.263: 13-25

矢橋毅, 古川溶介, 大森英昭, 山本康次, 河村清史. **膜**

分離活性汚泥法を用いた小型合併処理浄化槽の開発 (第2報). 月刊浄化槽. 1998; No.267: 33-43

河村清史. し尿処理の現状と動向. 環境技術. 1998; 17(12): 2-6

河村清史, 大迫政浩, 杉山涼子, 栗原和夫. ドイツの廃棄物研究事情. 廃棄物学会誌. 1998; 9(1): 66-76

大迫政浩. 廃棄物最終処分場におけるリスクの制御とモニタリング. 用水と廃水. 1998; 40(3): 201-210

大迫政浩, 重岡久美子. 官能試験におけるパネルの安全性について(第1報)ーケミカルハザード及びバイオハザード面からみたリスク評価ー. 臭気の研究. 1998; 29(4): 64-71

大迫政浩. 環境および品質の自主管理時代における測定評価プログラムと機器分析の役割. 臭気の研究. 1998; 29(5): 1-3

山田正人, 大迫政浩. 浸出水および処理水の安全性評価における今後の視点. 用水と廃水. 1998; 40(8): 671-680

著書

田中勝. ダイオキシン対策と技術開発. 工業技術会, 東京. 1998; 56-70

田中勝, 河村清史, 井上雄三, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人, 他共同執筆. 廃棄物学概論. 日本環境分析協会, 東京. 1998

田中勝, 河村清史, 他監訳. 廃棄物処理総論. エヌ・ティー・エス, 東京. 1998

大迫政浩(分担執筆). においの用語と解説. 環境庁大気保全局 大気生活環境室 監修. (社)臭気対策研究協会, 東京. 1998

河村清史. し尿によるリスクの実態. 土屋悦輝, 中室克彦, 酒井康行 編集. 水のリスクマネジメント実務指針. サイエンスフォーラム, 東京. 1998; 551-562

河村清史. し尿高度処理. 土屋悦輝, 中室克彦, 酒井康行 編集. 水のリスクマネジメント実務指針. サイエンスフォーラム, 東京. 1998; 642-651

河村清史. 水環境保全と生活排水処理. 金子光美, 河村清史, 中島淳 編著. 生活排水処理システム. 技報堂出版, 東京. 1998; 1-24

抄録のある学術報告

藤井崇, 田中勝, 河村清史, 大迫政浩, 山田正人, 杉山涼子, 栗原和夫. ごみ処理施策の意思決定支援システムの開発. 第19回全国都市清掃研究発表会, 川崎. 1998.2; 22-24

田中勝, 大迫政浩, 河村清史, 山田正人, 松井康弘, 藤井崇, 斎藤聡, 杉山涼子, 栗原和夫. 都市ゴミ処理計画新システムの研究ー試作版ソフトウェア開発ー. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 170-172

市川勇, 田中勝, 井上雄三, 山田正人, 今岡浩一, 大村実, 田中昭代. 都市ゴミ焼却灰の長期間摂取による雄ラットの体重, 臓器重量およびIgE抗体産生に対する影響. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 423-425

大塚江里, 河村清史, 藤村隆二郎. 小型合併処理浄化槽における消毒特性. 第32回日本水環境学会, 千葉. 1998.3; 258

河村清史, 山田正人, 荒尾大介. 生活排水処理施設の規模に関する比較検討. 第12回全国浄化槽技術研究集会, 新潟. 1998.10; 28-34

河村清史, 榊原豊, 佐藤豊, 中島淳, 渡辺孝雄. 合併処理浄化槽の開発途上国への技術移転に関する研究. 第12回全国浄化槽技術研究集会, 新潟. 1998.10; 35-41

河村清史. 膜利用型浄化槽の開発動向と今後の展望. ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム'98, 日本膜学会・(社)日本能率協会. 1998; 6-1-1~6-1-9.

今岡務, 家藤治幸, 井上雄三, 波多野啓史, 野村典広, 岡田光正. 生物処理汚泥の資源化のための可溶化技術の検討. 第32回日本水環境学会年会, 千葉. 1998.3; 417

井上雄三, 河村清史, 大迫政浩, 田中勝, 内田真由, 駒形恭美, 越田亮三. 断熱性発酵槽を用いた生ゴミの全量分解に関する実験的研究. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 342-344

今岡務, 野村典広, 家藤治幸, 井上雄三, 岡田光正. 資源化を目的とした生物処理汚泥の可溶化技術の開発. 第50回平成10年度土木学会中国支部研究発表会, 1998.8; VII-4: 677-678

今岡務, 野村典広, 家藤治幸, 井上雄三, 岡田光正. 汚泥有機物の有効利用を目的とした可溶化技術の開発. 第53回土木学会年次学術講演会, 1998.9; d-66: 132-133.

今岡務, 野村典広, 波多野啓史, 井上雄三, 岡田光正. 資源化のための加熱・加圧処理による生物処理汚泥の可溶化. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 220-222

坂井るり子, 欧陽通, 王寧, 尹順子, 大迫政浩, 島岡隆行, 宮脇健太郎, 花嶋正孝, 篠原武, 西垣正秀. 逐次抽出法による焼却残渣処理物中重金属の長期的溶出挙動の把握. 第19回全国都市清掃研究発表会, 川崎. 1998.2; 283-285

大迫政浩. 防脱臭技術に関する評価指針策定の必要性. 第39回大気環境学会年会, 札幌. 1998.9; 124-125

大迫政浩, 重岡久美子. 臭気官能試験におけるパネルの安全性に関するリスク評価. 第39回大気環境学会年会, 札幌. 1998.9; 220

坂井るり子, 尹順子, 大迫政浩. ASE-EIA法を用いたダイオキシン類の迅速スクリーニングについて. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 1047-1049

大迫政浩, 金容珍, 田中勝. 焼却残渣主体埋立処分層内のダイオキシン類の挙動に関する一考察. 第9回廃棄物学会研究発表会. 名古屋. 1998.10; 909-912

金容珍, 李東勲, 大迫政浩. CF-液液抽出法によるPOPs-溶解性フミン物質の結合係数測定に関する研究. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 894-896

齊藤明男, 大迫政浩. 廃棄物埋立地における環境モニタリング指標としての電気伝導度の有効性について. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋. 1998.10; 903-905

大迫政浩, 河村清史, 井上雄三, 田中勝, 駒形恭美, 内田真由, 越田亮三. **有機性廃棄物のバイオ処理過程における臭気の発生特性**. 臭気学会, 東京, 1998.6; 111

山田正人, 井上雄三, 大迫政浩, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. **廃棄物処理・処分システムのリスク管理における遺伝子毒性試験の適用**. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋, 1998.10; 1029-1031

山田正人, 井上雄三, 大迫政浩, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. **廃棄物分野におけるバイオアッセイ手法の適用について 第2報: 各種変異原性試験法の適用性の検討**. 第6回北海道大学衛生工学シンポジウム, 1998.11

松井康弘, 山田正人, 井上雄三, 河村清史, 田中勝, 御地合博, 河窪義男. **し尿の高負荷脱窒素処理方式のLCAによる評価事例**. 第9回廃棄物学会研究発表会, 名古屋, 1998.10; 84-86.

山田正人, 井上雄三, 木苗直秀, 小野芳朗, 吉野秀吉, 市川勇, 田中勝. **廃棄物ライフサイクルにおける有害化学物質のリスク評価手法の開発(2)**. 日本環境変異原学会第27回大会, 大阪, 1998.12; 155

学術報告書等

田中勝, 池口孝, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫, 後藤純雄, 遠藤治. **廃棄物の熱処理に伴う未規制有害物質の制御・管理に関する研究**. 平成9年度環境保全成果集(環境庁), 研究代表者田中勝, 1998; 11-1~11-17

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩. **最終処分場のリスク管理**

のための監視及び修復技術の総合化に関する研究. 総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集(廃棄物の処理と資源化技術に関する総合研究), 研究代表者田中勝, 1998; 9-1~9-20

田中勝, 井上雄三, 大迫政浩, 山田正人, 渡辺征夫. **廃棄物処理分野におけるメタン・亜酸化窒素の発生抑制対策に関する研究**. 環境庁地球環境研究総合推進費終了研究報告書, 研究代表者田中勝, 1998; 91-102

河村清史, 他. **地域環境に対応した生活排水処理施設等の処理水質の高度化に関する研究**. 総合研究プロジェクト別環境保全研究成果集, 研究代表者河村清史, 1998; 94-1~94-37

河村清史. **限外ろ過を利用した嫌気好気活性汚泥法における蓄積性溶解性物質の生物活性に及ぼす影響(その3)**. 財団法人廃棄物研究財団. 液状廃棄物のエコ処理システムの開発に関する研究要旨書(平成9年度), 研究代表者田中勝, 1998; 229-248

井上雄三. **液状廃棄物の高速造粒メタン発酵槽プロセスの開発**. 財団法人廃棄物研究財団. 液状廃棄物のエコ処理システムの開発に関する研究要旨書(平成9年度), 研究代表者田中勝, 1998; 215-223

松井康弘, 山田正人, 井上雄三, 河村清史, 田中勝, 御地合博, 河窪義男. **液状廃棄物処理システムの技術評価に関する研究**. 財団法人廃棄物研究財団. 液状廃棄物のエコ処理システムの開発に関する研究要旨書(平成9年度), 研究代表者田中勝, 1998; 229-233

Proceedings with abstracts

Tanaka M, Osako M, Fujii T, Saito A, Sugiyama R, Kurihara K. **A study on comparison of municipal solid waste management alternatives based on inventory analysis**. The Third International Conference on EcoBalance. Tukuba. Nov. 1998; 497-500

Tanaka M. **Dioxins from waste incinerators and control measures against them**. 18th Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants. Stockholm. Aug. 1998; 355-358 (symposium)

Kawakami I, Tanaka M, Sato T. **Dioxin emissions from incinerators for sludge from night soil treatment plants**. 9th Annual Conference of the Japan Society of Waste Management Experts. 18th Symposium on

Halogenated Environmental Organic Pollutants. Stockholm. Aug. 1998; 213-216 (symposium)

Tanaka M, Doi Y. **A concept and indicators for evaluations of solid waste management projects in developing countries**. 1998 Pacific Basin Conference on Hazardous Waste. Honolulu. Apr. 1998; 29-39

Doi Y, Tanaka M, Ikeguchi T. **A concept and indicators for evaluation of solid waste management projects**. The 9th Annual Conference of the Japan Society of Waste Management Experts, Nagoya. Oct. 1998; 8-10

Yamada M, Ishiwata N, Inoue Y, Ohsako M, Tanaka M. **Numerical analysis of methane oxidation and migration in landfill cover soil**. 第2回韓・日廃棄物学会共同学術発表会. Seoul. May. 1998; 81-84

附属図書館 Library

原著

丹後俊郎. **競合リスク存在下での治療効果の推測法**. がん治療のあゆみ, 1998; 17: 35-41

丹後俊郎. **潜伏期間に対数正規分布を仮定した集団食中毒の曝露時点の最尤推定法**. 日本公衛誌, 1998; 45: 129-141.

丹後俊郎. **小児基準値設定における基本統計理論**. 臨床

検査. 1998; 42: 218-220

総説

丹後俊郎. 研究の種類に応じたデータのまとめ方—統計的方法適用以前の科学研究者としてのセンサー—. 日本消化器病学会雑誌. 1998; 95: 412-418

著書

丹後俊郎. 統計学のセンス—デザインする視点・データ

を見る目. 医学統計学シリーズ No.1, 朝倉書店, 1998

学術報告書等

丹後俊郎, 他. 平成10年度大気汚染保健対策学童モニタリング調査中間報告書—3年間のまとめ(平成6年度~平成8年度)—. 東京都衛生局編, 1998

丹後俊郎. 調査の評価方法—統計学的評価—. 平成7年度東京都衛生検査所精度管理事業報告書, 東京都衛生局編. 1998; 9-49

Originals

Tango T. **Equivalence test and confidence interval for the difference in proportions for the paired-sample design.** *Statistics in Medicine*. 1998; 17: 891-908.

Tango T. **Adjusting Moran's I for population density.** *Statistics in Medicine*. 1998; 17: 1055-1062

Tango T. **Estimation of age-specific reference ranges via smoother AVAS.** *Statistics in Medicine*. 1998; 17: 1231-1243.

Books

Tango T. **A mixture model to classify individual profiles of repeated measurements:** In "Data Science, Classification, and Related Topics" (eds by C. Hayashi,

et al.), Springer-Verlag. Tokyo: 1998; 247-254

Proceedings with abstracts

Tango T. **Coverage probabilities of confidence intervals for the difference in proportions for the paired-sample design.** 応用統計学会・日本計量生物学会合同年次大会, 東京. 1998.5

Tango T. **Spatial epidemiology: detection of spatial clusters of disease.** Cancer Prevention and Control Colloquium at the National Cancer Institute, Bethesda, U.S.A., Apr. 1998 (Invited paper)

Tango T, Kulldorff M. **Detection of spatial clusters of disease: power comparisons of general tests.** The 19th International Society for Clinical Biostatistics Meeting. Dundee, U.K. Aug. 1998 (Invited paper)